

平成21年度 医師会立
助産師・看護師・准看護師学校養成所
入学・卒業状況調査

平成21年4月実施
社団法人 日本医師会

目次

調査概要	1
平成21年度 調査結果の概要	
<1> 平成21年度入学状況	2
<2> 平成20年度卒業状況	6
<入学状況の経年変化>	
I. 学校数の推移	9
II. 入学状況の推移	10
III. 倍率の推移	14
IV. 定員充足率の推移	19
V. 入学率の推移	24
VI. 男子生徒率の推移	29
VII. 勤労生徒率の推移	31
VIII. 最終学歴の推移	33
まとめ	39
付. 調査票	

調査目的

各助産師・看護師・准看護師学校養成所における入学・卒業状況の実態の把握

調査概要

調査方法	質問紙郵送法
調査対象	各都道府県医師会
調査地域	全国
有効サンプル数	393校（*各年ごとに入学者もしくは卒業者のあった学校養成所を調査対象としている）
調査実施時期	平成21年4月
調査内容	各助産師・看護師・准看護師学校養成所における入学・卒業状況

学校養成所数

○准看護師課程	209 校	
* 21年度募集停止	6 校	計 215校
○看護師2年課程	91 校	
* 21年度募集停止	5 校	計 96校
○看護師3年課程	56 校	計 57校
* うち21年度新設	4 校	
* 21年度募集停止	1 校	
○助産師課程	5 校	
* うち21年度新設	1 校	
* 20年度より調査開始		

※ 以降、調査結果概要ページでは募集停止校については含んでいない。

平成21年度 調査結果の概要

<1>平成21年度入学状況

1. 各項目の総数

(人)

	定員	応募者	受験者	合格者	入学者
准看護師課程	10,401	19,816	18,992	11,177	10,204
(うち男子)		(4,697)	(4,507)	(2,112)	(1,925)
2年課程	4,520	6,573	6,369	4,666	4,266
(うち男子)		(1,518)	(1,477)	(990)	(928)
3年課程	2,767	7,641	7,216	3,700	2,809
(うち男子)		(1,444)	(1,371)	(520)	(426)
助産師課程	120	633	594	134	120

(人)

	入学者の最終学歴					勤労生徒
	中卒	高校新卒	高校既卒	短大卒	大卒	
准看護師課程	622	2,583	5,296	981	722	6087
(うち男子)	(60)	(404)	(1,101)	(70)	(290)	
入学者に占める割合	6.1%	25.3%	51.9%	9.6%	7.1%	59.7%
2年課程	59	211	3,513	265	218	—
(うち男子)	(5)	(34)	(757)	(20)	(112)	—
入学者に占める割合	1.4%	4.9%	82.3%	6.2%	5.1%	—
3年課程	—	1,560	794	201	254	—
(うち男子)	—	(176)	(173)	(6)	(71)	—
入学者に占める割合	—	55.5%	28.3%	7.2%	9.0%	—
助産師課程	0	13	75	16	16	—
入学者に占める割合	0.0%	10.8%	62.5%	13.3%	13.3%	—

※1 「勤労生徒」とは、新入生のうち医療機関で働きながら学ぶ生徒、あるいは医療機関で働きながら学ぶことを希望する生徒を指す。

※2 他の専門学校卒業生、大検合格者は「高校既卒」として集計した。

平成21年度 調査結果の概要

2. 倍率(応募者/定員)

(学校数)

	准看護師課程	2年課程	3年課程	助産師課程
0.8倍未満	4 (1.9%)	5 (5.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
1.0倍未満	2 (1.0%)	4 (4.4%)	1 (1.8%)	0 (0.0%)
1.2倍未満	9 (4.3%)	18 (19.8%)	2 (3.6%)	0 (0.0%)
1.5倍未満	47 (22.5%)	26 (28.6%)	3 (5.4%)	0 (0.0%)
2.0倍未満	68 (32.5%)	28 (30.8%)	11 (19.6%)	0 (0.0%)
2.5倍未満	42 (20.1%)	8 (8.8%)	11 (19.6%)	0 (0.0%)
3.0倍未満	16 (7.7%)	2 (2.2%)	10 (17.9%)	0 (0.0%)
3.0倍以上	21 (10.0%)	0 (0.0%)	18 (32.1%)	5 (100.0%)
合計	209 (100.0%)	91 (100.0%)	56 (100.0%)	5 (100.0%)
最高倍率	7.1 倍	2.6 倍	6.2 倍	6.3 倍
最低倍率	0.3 倍	0.5 倍	0.8 倍	3.4 倍
平均	2.0 倍	1.4 倍	2.7 倍	5.2 倍

3. 定員充足率(入学者/定員)

(学校数)

	准看護師課程	2年課程	3年課程	助産師課程
50%未満	1 (0.5%)	3 (3.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
60%未満	3 (1.4%)	2 (2.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
70%未満	5 (2.4%)	2 (2.2%)	2 (3.6%)	0 (0.0%)
80%未満	7 (3.3%)	4 (4.4%)	1 (1.8%)	0 (0.0%)
90%未満	8 (3.8%)	9 (9.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
100%未満	40 (19.1%)	20 (22.0%)	9 (16.1%)	1 (20.0%)
100%	39 (18.7%)	21 (23.1%)	14 (25.0%)	3 (60.0%)
100%以上	106 (50.7%)	30 (33.0%)	30 (53.6%)	1 (20.0%)
合計	209 (100.0%)	91 (100.0%)	56 (100.0%)	5 (100.0%)
最高率	135.0 %	112.5 %	122.5 %	110.0 %
最低率	22.5 %	30.0 %	63.8 %	95.0 %
平均	100.3 %	94.6 %	101.7 %	101.0 %

平成21年度 調査結果の概要

4. 入学率(入学者/合格者)

(学校数)

	准看護師課程	2年課程	3年課程	助産師課程
50%未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (3.6%)	0 (0.0%)
60%未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (5.4%)	0 (0.0%)
70%未満	2 (1.0%)	2 (2.2%)	9 (16.1%)	0 (0.0%)
80%未満	11 (5.3%)	9 (9.9%)	13 (23.2%)	1 (20.0%)
90%未満	62 (29.7%)	16 (17.6%)	15 (26.8%)	1 (20.0%)
100%未満	94 (45.0%)	35 (38.5%)	9 (16.1%)	1 (20.0%)
100%	40 (19.1%)	29 (31.9%)	5 (8.9%)	2 (40.0%)
合計	209 (100.0%)	91 (100.0%)	56 (100.0%)	5 (100.0%)
最高率	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %
最低率	65.0 %	66.1 %	43.0 %	74.1 %
平均	91.6 %	92.1 %	78.7 %	89.8 %

5. 男子生徒率(男子生徒数/入学者)

(学校数)

	准看護師課程	2年課程	3年課程	助産師課程
0%	8 (3.8%)	4 (4.4%)	2 (3.6%)	-
10%未満	14 (6.7%)	8 (8.8%)	14 (25.0%)	-
20%未満	90 (43.1%)	24 (26.4%)	22 (39.3%)	-
30%未満	67 (32.1%)	33 (36.3%)	15 (26.8%)	-
40%未満	19 (9.1%)	16 (17.6%)	3 (5.4%)	-
40%以上	11 (5.3%)	6 (6.6%)	0 (0.0%)	-
合計	209 (100.0%)	91 (100.0%)	56 (100.0%)	-
最高率	48.0 %	48.8 %	35.1 %	-
最低率	0.0 %	0.0 %	0.0 %	-
平均	20.0 %	22.4 %	16.1 %	-

6. 勤労生徒率(勤労生徒/入学者)

(学校数)

	准看護師課程	
0%	11	(5.3%)
50%未満	43	(20.9%)
60%未満	33	(16.0%)
70%未満	27	(13.1%)
80%未満	42	(20.4%)
90%未満	26	(12.6%)
100%未満	19	(9.2%)
100%	5	(2.4%)
合計	206	(100.0%)
最高率	100.0 %	
最低率	0.0 %	
平均	60.9 %	

*各課程において下記のデータ欠損あり
 准看護師課程・・・勤労生徒3校

平成21年度 調査結果の概要

<2>平成20年度卒業状況

1. 各項目の総数

(人)

平成20年度	入学時の		卒業者	卒業 延期者
	定員	入学者		
准看護師課程 (うち男子)	11,013	10,507 (2,099)	8,715 (1,639)	279 (73)
看護師2年課程 (うち男子)	4,733	4,808 (938)	4,103 (780)	260 (64)
看護師3年課程 (うち男子)	2,267	2,234 (307)	1,800 (214)	153 (40)
助産師課程	100	99	96	2

2. 卒業率(卒業者/入学者)

(学校数)

	准看護師課程	看護師2年課程	看護師3年課程	助産師課程
50%未満	2 (0.9%)	2 (2.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
60%未満	7 (3.2%)	0 (0.0%)	2 (4.3%)	0 (0.0%)
70%未満	12 (5.5%)	5 (5.2%)	4 (8.5%)	0 (0.0%)
80%未満	46 (21.2%)	20 (20.6%)	12 (25.5%)	0 (0.0%)
90%未満	97 (44.7%)	35 (36.1%)	17 (36.2%)	1 (25.0%)
100%未満	47 (21.7%)	30 (30.9%)	11 (23.4%)	0 (0.0%)
100%	6 (2.8%)	5 (5.2%)	1 (2.1%)	3 (75.0%)
合計	217 (100.0%)	97 (100.0%)	47 (100.0%)	4 (100.0%)
最高率	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %
最低率	41.4 %	47.1 %	52.3 %	85.7 %
平均	82.8 %	84.9 %	80.9 %	96.4 %

*各課程において下記のデータ欠損あり。

准看護師課程 男子生徒 …卒業者-10校、卒業延期者-10校

看護師2年課程 男子生徒 …卒業者-5校、卒業延期者-5校

看護師3年課程 男子生徒 …卒業者-3校、卒業延期者-3校

3. 卒業延期率(卒業延期者/入学者)

(学校数)

	准看護師課程	看護師2年課程	看護師3年課程	助産師課程
0%	127 (58.5%)	39 (40.2%)	14 (29.8%)	3 (75.0%)
10%未満	76 (35.0%)	33 (34.0%)	20 (42.6%)	1 (25.0%)
20%未満	12 (5.5%)	21 (21.6%)	10 (21.3%)	0 (0.0%)
30%未満	2 (0.9%)	4 (4.1%)	3 (6.4%)	0 (0.0%)
40%未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
40%以上	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	217 (100.0%)	97 (100.0%)	47 (100.0%)	4 (100.0%)
最高率	25.0 %	27.6 %	27.8 %	9.5 %
最低率	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
平均	2.6 %	5.3 %	6.6 %	2.4 %

*各課程において下記のデータ欠損あり。

准看護師課程 男子生徒 …卒業者-10校、卒業延期者-10校

看護師2年課程 男子生徒 …卒業者-5校、卒業延期者-5校

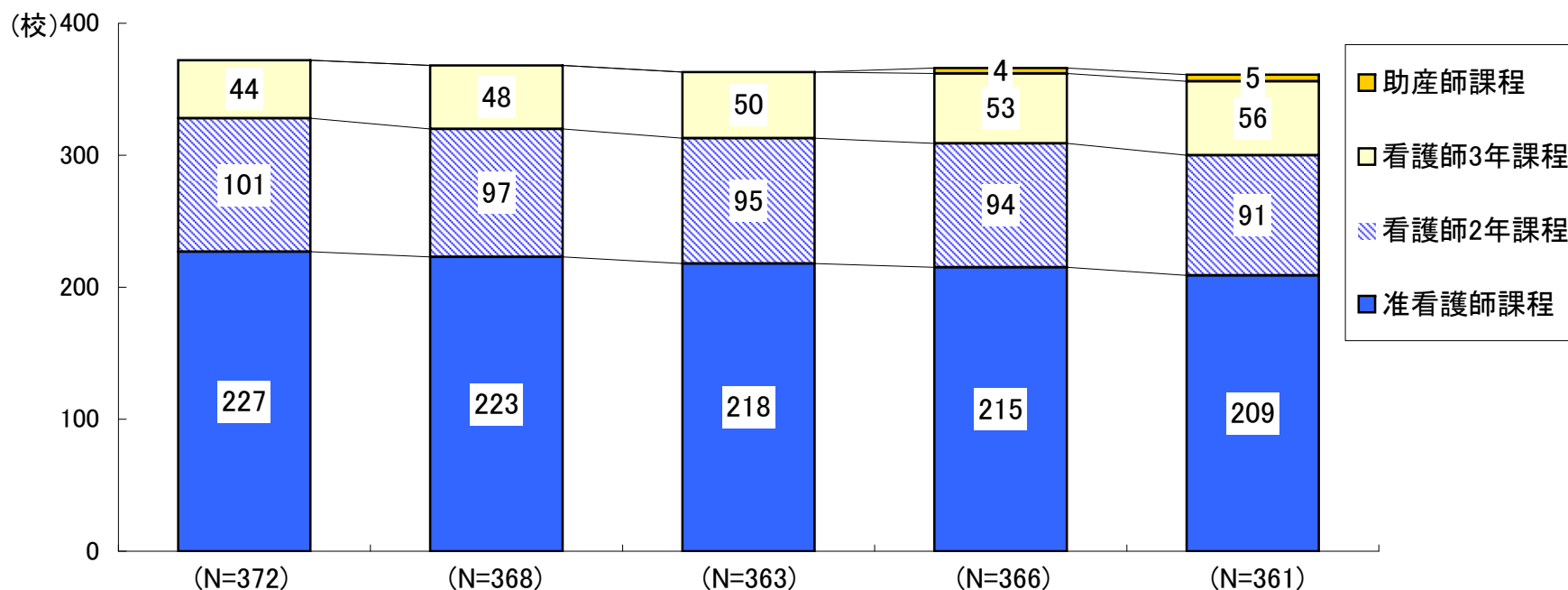
看護師3年課程 男子生徒 …卒業者-3校、卒業延期者-3校

入学状況の経年変化

I. 学校数の推移

学校数の推移を見ると、准看護師課程、看護師2年課程では年々減少傾向で、平成17年度と比べると9割程度となっている。一方で看護師3年課程は、毎年学校数が増え、平成21年度は56校であった。

1. 学校数の推移



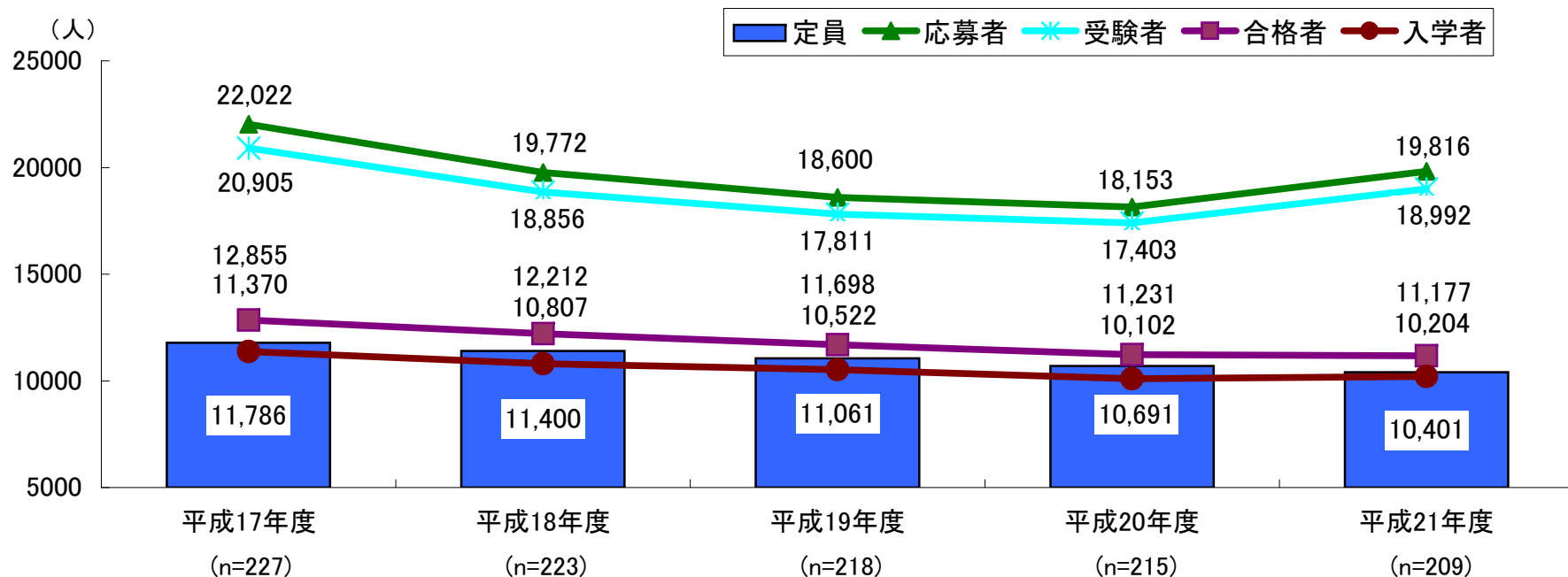
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	(校)
准看護師課程	227	223	218	215	209	
看護師2年課程	101	97	95	94	91	
看護師3年課程	44	48	50	53	56	
助産師課程	-	-	-	4	5	

*助産師課程については、平成20年度より調査開始

Ⅱ. 入学状況の推移

准看護師課程の入学状況を見ると、平成20年度は応募者が1万8千人と平成17年度に比べ82%の応募人数で年々減少していたが、平成21年度は応募者は増加し、2万人に近づき、平成17年度と比較しても90%まで持ち直している。

1. 入学状況（准看護師課程）

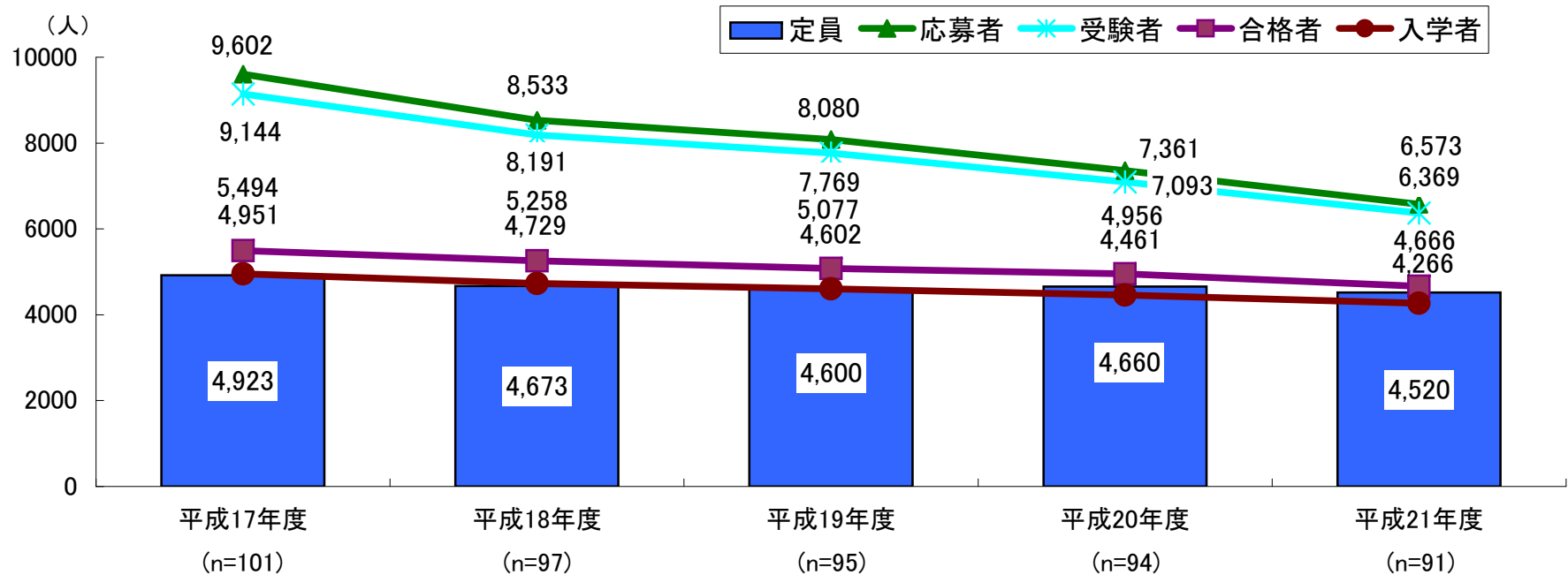


	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
定員	11,786	11,400	11,061	10,691	10,401
応募者	22,022	19,772	18,600	18,153	19,816
受験者	20,905	18,856	17,811	17,403	18,992
合格者	12,855	12,212	11,698	11,231	11,177
入学者	11,370	10,807	10,522	10,102	10,204

Ⅱ. 入学状況の推移

看護師2年課程の入学状況を見ると、応募者は平成17年度に9千6百人であったものが、平成21年度には6千6百人と平成17年度の68%の水準にまで大幅に減少した。平成20年度と比較しても89%の水準である。また入学者も平成17年度は4千9百人強であったが平成21年度は4千3百人と86%の水準に低下している。

2. 入学状況（看護師2年課程）

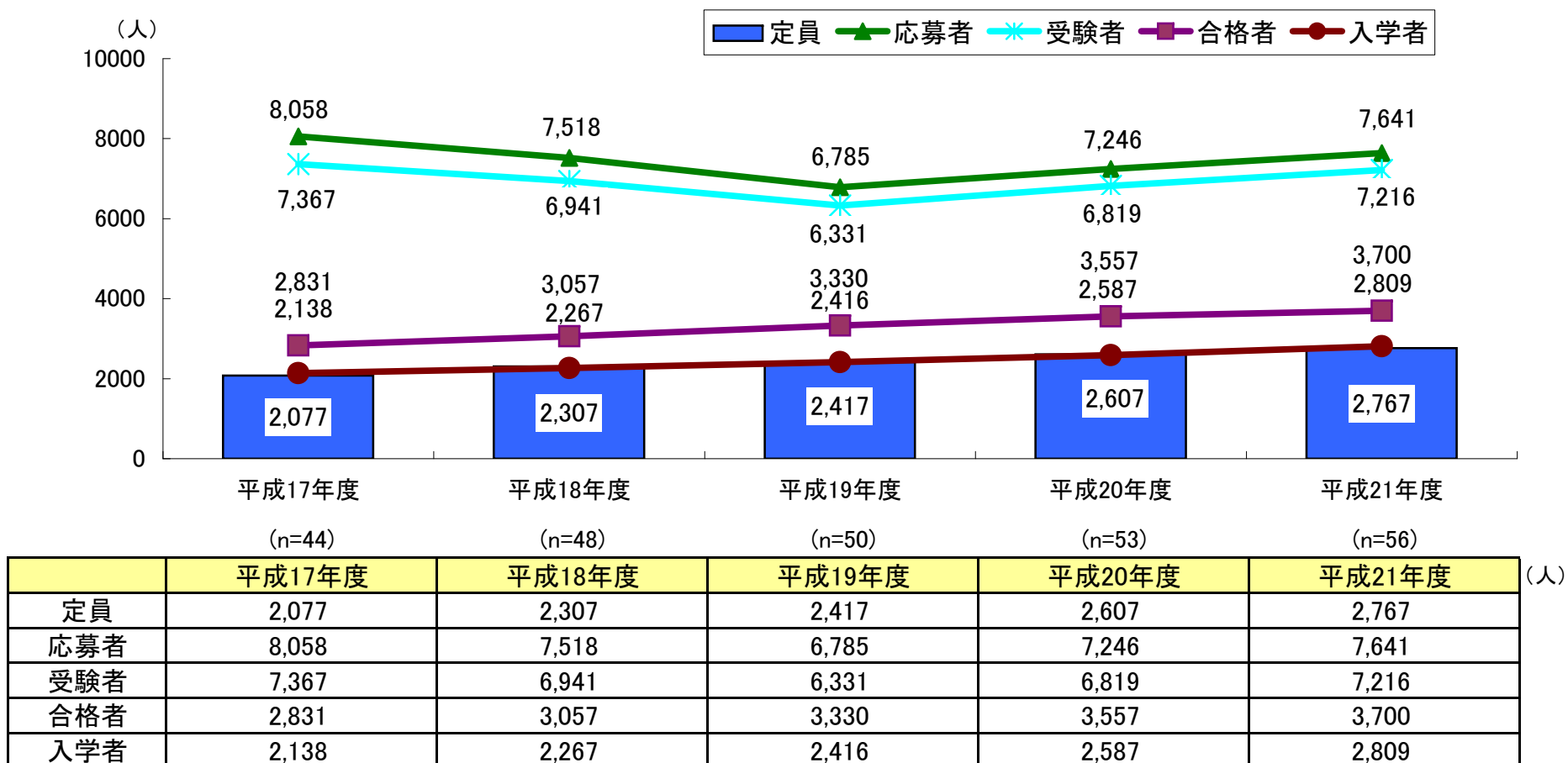


	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	(人)
定員	4,923	4,673	4,600	4,660	4,520	
応募者	9,602	8,533	8,080	7,361	6,573	
受験者	9,144	8,191	7,769	7,093	6,369	
合格者	5,494	5,258	5,077	4,956	4,666	
入学者	4,951	4,729	4,602	4,461	4,266	

Ⅱ. 入学状況の推移

看護師3年課程の入学状況を見ると、学校数の増加に伴い、入学者数は毎年増加しており、平成17年度には2千百人であったが、平成21年度には2千8百人と31%増加した。また、応募者と受験者は平成19年度に落ち込みを見せるものの、平成20年度に引き続き平成21年度も増加し、応募者は7千6百人、受験者は7千2百人であった。

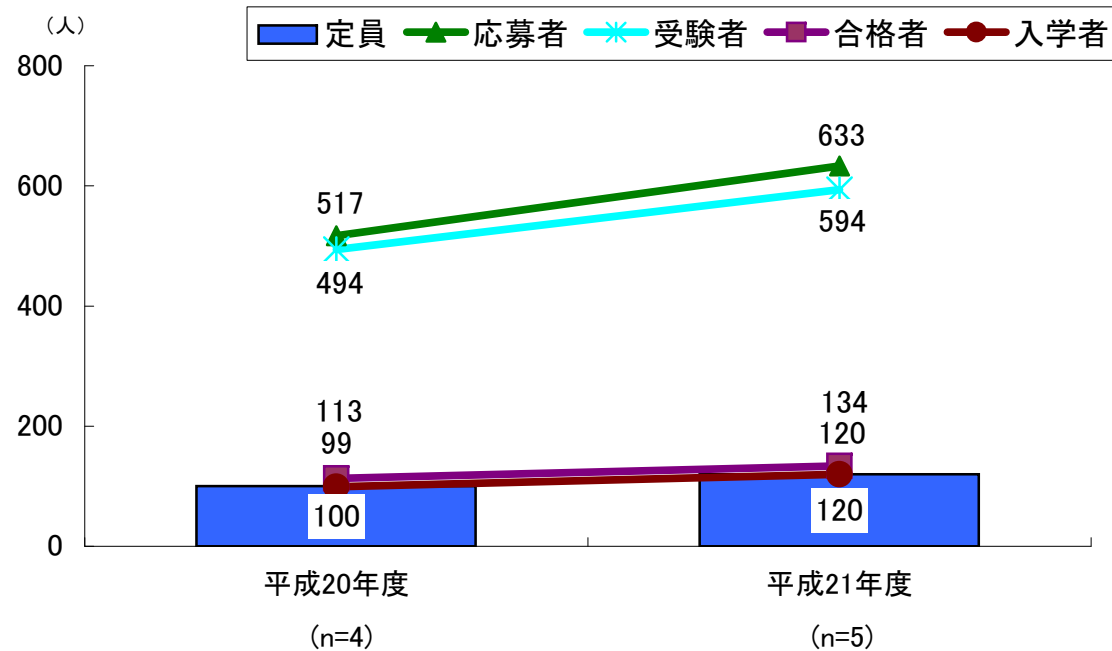
3. 入学状況（看護師3年課程）



Ⅱ. 入学状況の推移

助産師課程の入学状況をみると、学校数が1校増え、定員も100人から120人へと増加している。それに伴い、応募者についても平成20年度は5百人だったのに対して、平成21年度は6百人強へと増加した。

4. 入学状況（助産師課程）



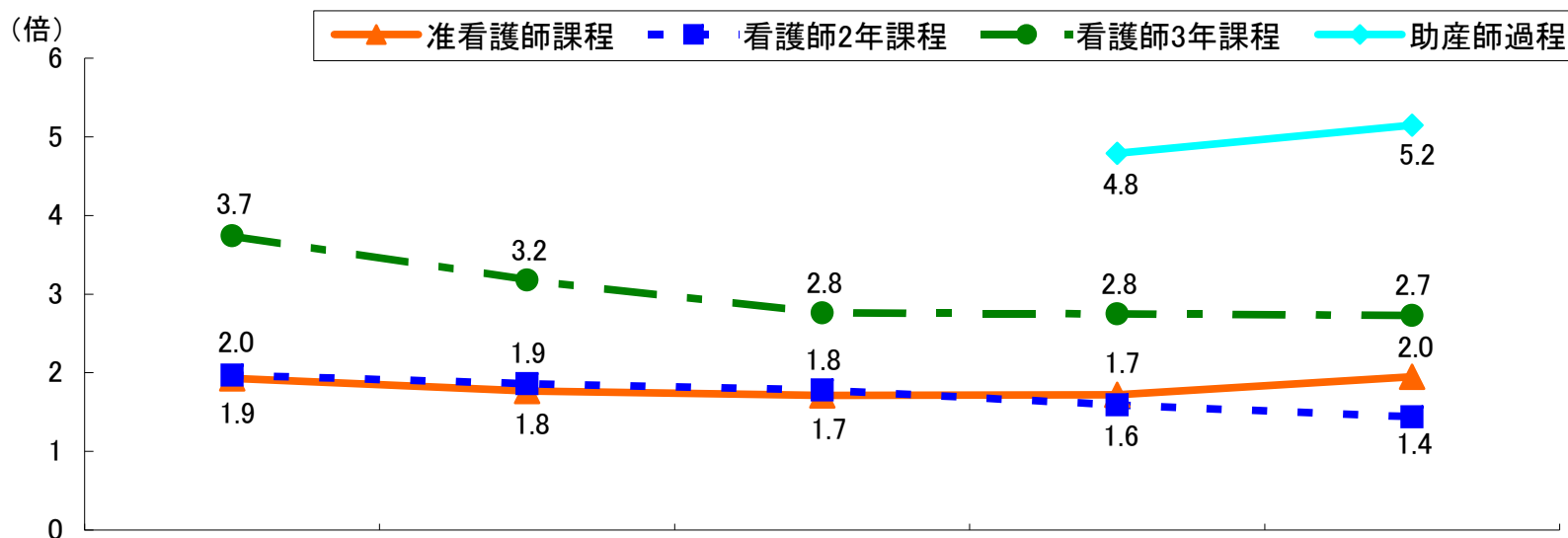
	平成20年度	平成21年度	(人)
定員	100	120	
応募者	517	633	
受験者	494	594	
合格者	113	134	
入学者	99	120	

Ⅲ. 倍率の推移

定員に対する応募者数の倍率推移を課程ごとに比較してみた。

最も倍率の高い助産師課程は平成21年度は5.2倍であり、平成20年度と比較しても0.4ポイント増加した。看護師3年課程では、平成19年度から平成21年度にかけてほぼ横ばいだが、平成17年度から、平成19年度にかけて倍率が低下した。看護師2年課程については倍率は年々低下傾向にある。一方、准看護師課程の倍率は平成20年度の1.7倍から2.0倍へと増加に転じ、この5年間では最高の倍率であった。

1. 倍率の推移

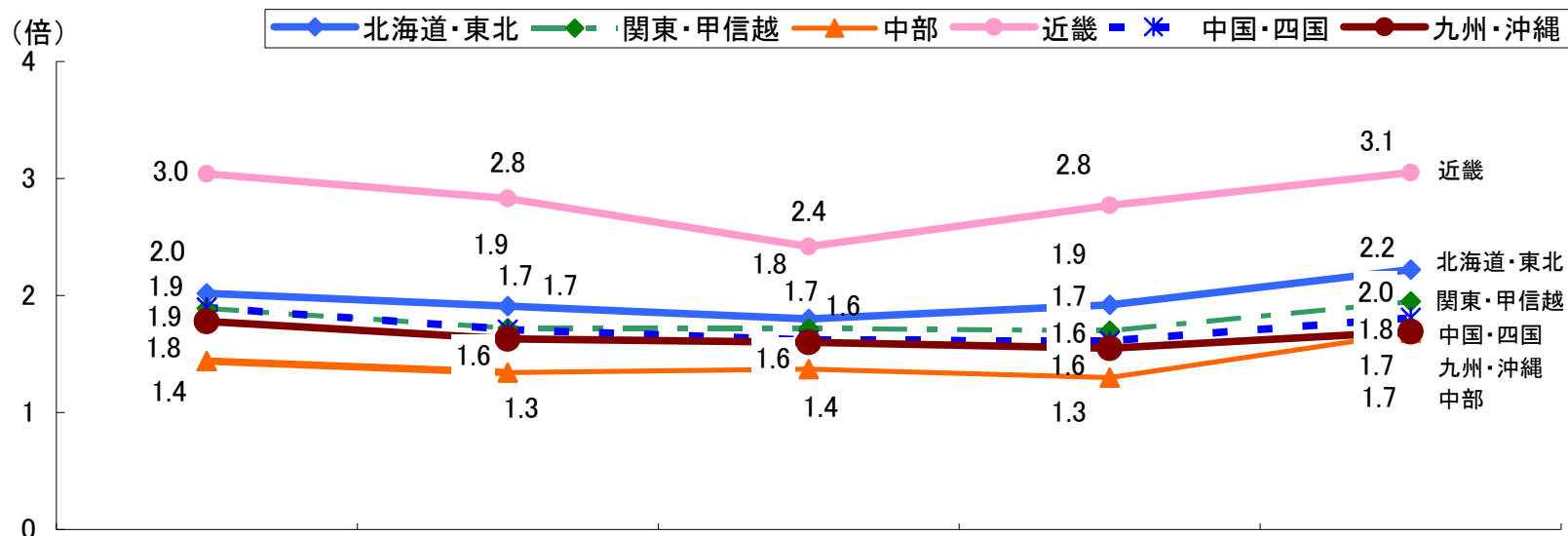


	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		(倍)
	回答校数	倍率	回答校数	倍率	回答校数	倍率	回答校数	倍率	回答校数	倍率	
准看護師課程	(n=227)	1.9	(n=223)	1.8	(n=218)	1.7	(n=215)	1.7	(n=209)	2.0	
看護師2年課程	(n=101)	2.0	(n=97)	1.9	(n=95)	1.8	(n=94)	1.6	(n=91)	1.4	
看護師3年課程	(n=44)	3.7	(n=48)	3.2	(n=50)	2.8	(n=53)	2.8	(n=56)	2.7	
助産師課程	-	-	-	-	-	-	(n=4)	4.8	(n=5)	5.2	

Ⅲ. 倍率の推移

准看護師課程の倍率の推移を地域別に比較してみた。
 平成21年度において最も倍率が高い地域は「近畿」で3.1倍、最も低い地域は「中部」「九州・沖縄」で1.7倍であった。
 但し、どの地域でも平成20年度と比較すると倍率を伸ばしており、最も倍率を伸ばしたのは「中部」で、平成20年度より0.4ポイント上昇している。

2-1. 倍率の推移（准看護師課程） <地域別>

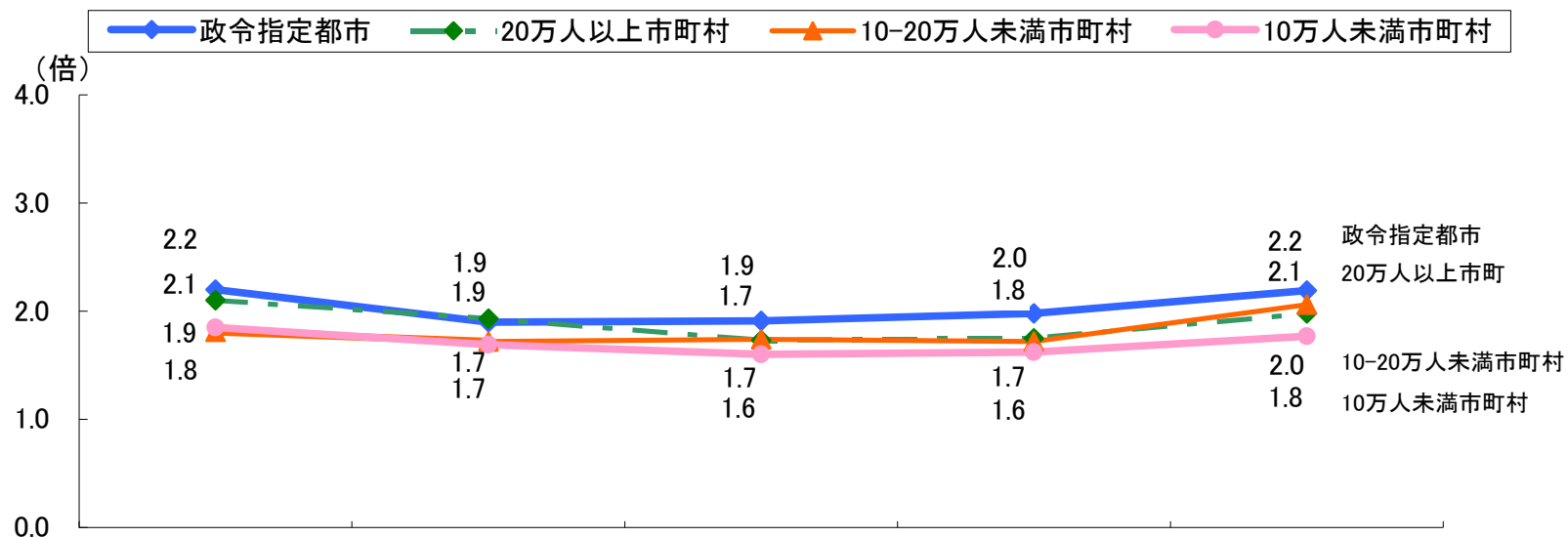


	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		(倍)
	回答校数	倍率	回答校数	倍率	回答校数	倍率	回答校数	倍率	回答校数	倍率	
北海道・東北	(n=32)	2.0	(n=30)	1.9	(n=29)	1.8	(n=29)	1.9	(n=29)	2.2	
関東・甲信越	(n=67)	1.9	(n=67)	1.7	(n=67)	1.7	(n=66)	1.7	(n=64)	2.0	
中部	(n=22)	1.4	(n=21)	1.3	(n=20)	1.4	(n=19)	1.3	(n=18)	1.7	
近畿	(n=18)	3.0	(n=17)	2.8	(n=17)	2.4	(n=16)	2.8	(n=14)	3.1	
中国・四国	(n=35)	1.9	(n=35)	1.7	(n=34)	1.6	(n=34)	1.6	(n=34)	1.8	
九州・沖縄	(n=53)	1.8	(n=53)	1.6	(n=51)	1.6	(n=51)	1.6	(n=50)	1.7	

Ⅲ. 倍率の推移

准看護師課程の倍率の推移を人口区別に比較をしてみたところ、いずれの年も「政令指定都市」の倍率が最も高くなっている。また、平成20年度と比較して平成21年度は、どの人口区分でも倍率が上がった。

2-2. 倍率の推移（准看護師課程） ＜人口区分別＞

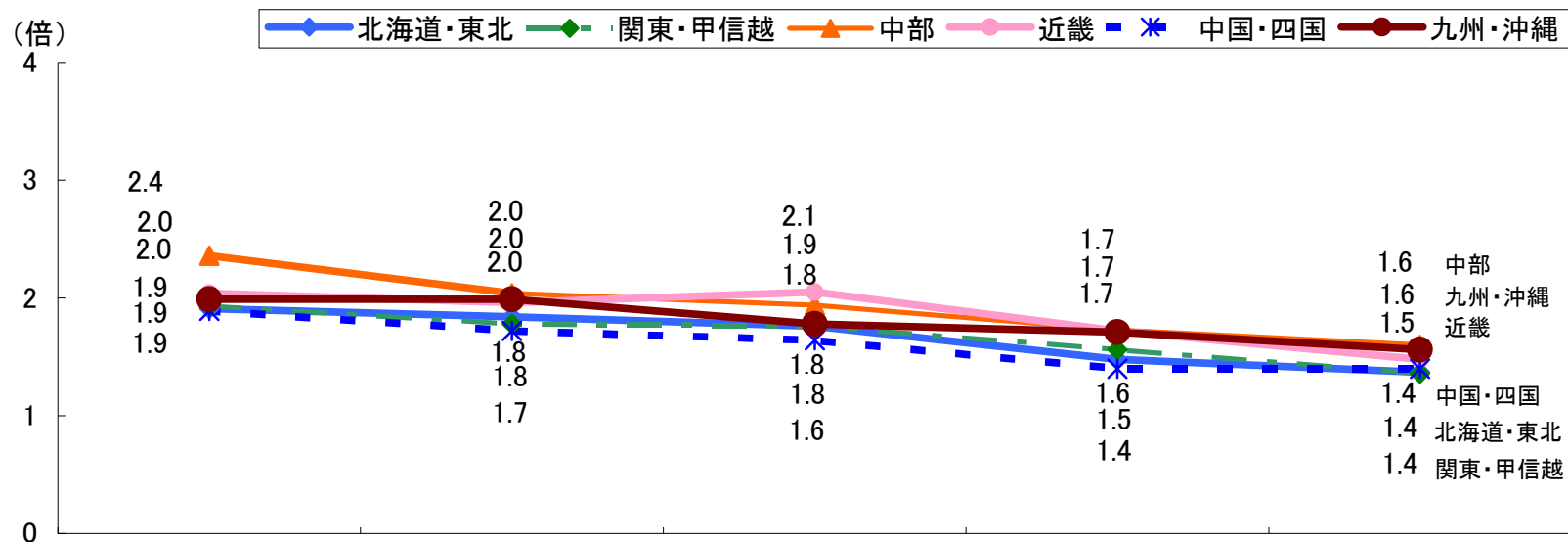


	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		(倍)
	回答校数	倍率	回答校数	倍率	回答校数	倍率	回答校数	倍率	回答校数	倍率	
政令指定都市	(n=28)	2.2	(n=28)	1.9	(n=28)	1.9	(n=28)	2.0	(n=28)	2.2	
20万人以上市町村	(n=48)	2.1	(n=46)	1.9	(n=45)	1.7	(n=44)	1.8	(n=42)	2.0	
10-20万人未満市町村	(n=65)	1.8	(n=63)	1.7	(n=62)	1.7	(n=62)	1.7	(n=61)	2.1	
10万人未満市町村	(n=86)	1.9	(n=86)	1.7	(n=83)	1.6	(n=81)	1.6	(n=78)	1.8	

Ⅲ. 倍率の推移

看護師2年課程の倍率の推移を地域別に比較してみた。
 いずれの地域でも倍率は低下しており、ほぼ横並びであるが、平成17年度と比較し、倍率の低下が著しいのは「中部」でマイナス0.8ポイントであった。

3. 倍率の推移（看護師2年課程） <地域別>

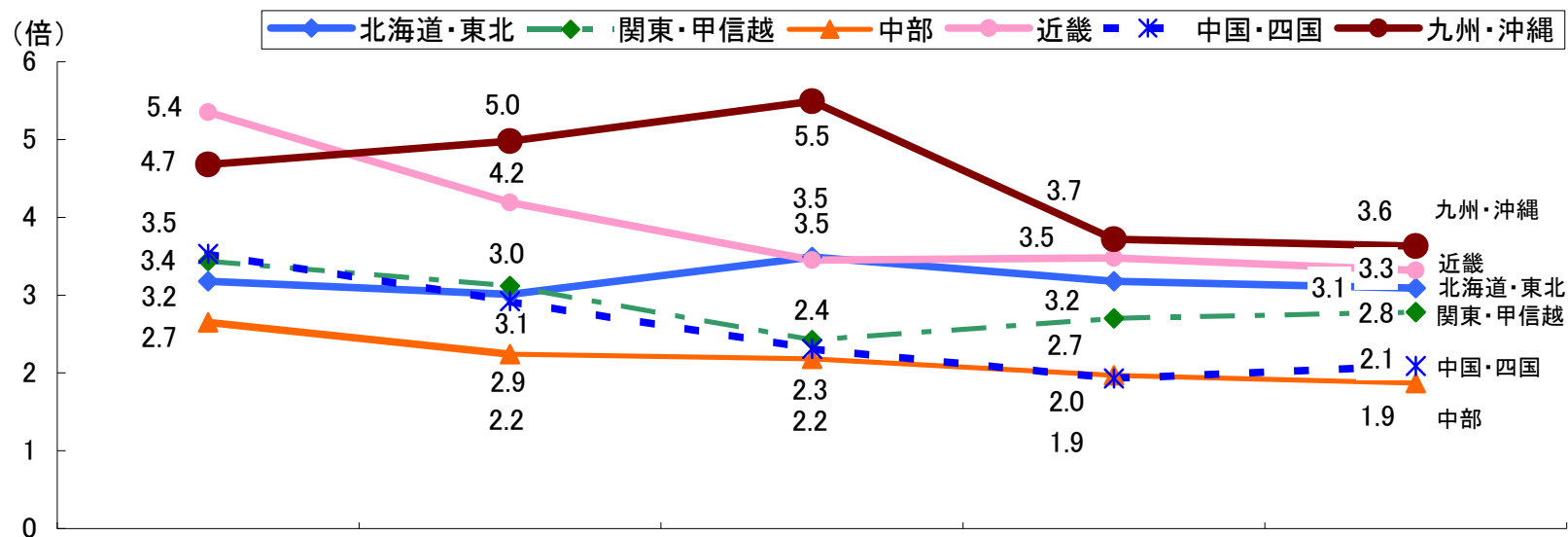


	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		(倍)
	回答校数	倍率	回答校数	倍率	回答校数	倍率	回答校数	倍率	回答校数	倍率	
北海道・東北	(n=15)	1.9	(n=14)	1.8	(n=13)	1.8	(n=12)	1.5	(n=12)	1.4	
関東・甲信越	(n=28)	1.9	(n=28)	1.8	(n=28)	1.8	(n=28)	1.6	(n=28)	1.4	
中部	(n=4)	2.4	(n=4)	2.0	(n=4)	1.9	(n=4)	1.7	(n=3)	1.6	
近畿	(n=10)	2.0	(n=8)	2.0	(n=8)	2.1	(n=8)	1.7	(n=8)	1.5	
中国・四国	(n=15)	1.9	(n=15)	1.7	(n=15)	1.6	(n=15)	1.4	(n=15)	1.4	
九州・沖縄	(n=29)	2.0	(n=28)	2.0	(n=27)	1.8	(n=27)	1.7	(n=25)	1.6	

Ⅲ. 倍率の推移

看護師3年課程の倍率の推移を地域別に比較して見ると、平成21年度において最も高い倍率は「九州・沖縄」の3.6倍、最も低い倍率は「中部」の1.9倍であった。「九州・沖縄」については平成20年度に大きく下降しているものの比較的高い水準で推移している。また「関東・甲信越」「中国・四国」については、平成20年に比べ倍率が増加に転じている。

4. 倍率の推移（看護師3年課程） ＜地域別＞

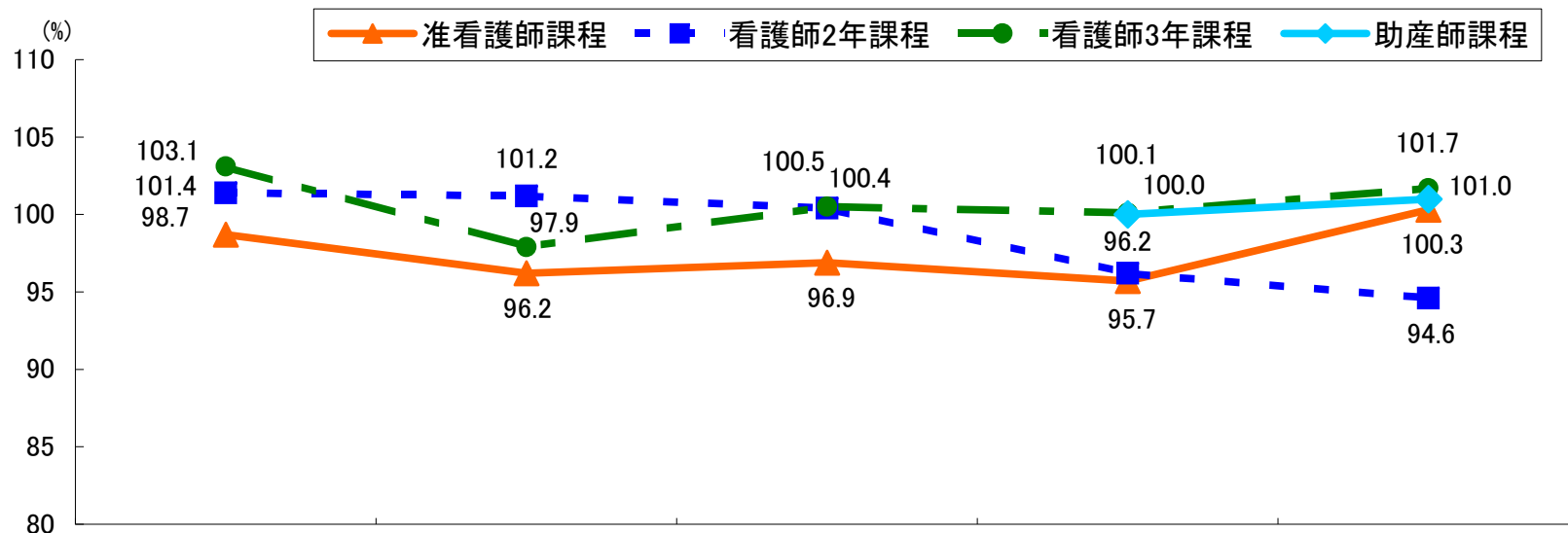


	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		(倍)
	回答校数	倍率	回答校数	倍率	回答校数	倍率	回答校数	倍率	回答校数	倍率	
北海道・東北	(n=1)	3.2	(n=3)	3.0	(n=4)	3.5	(n=5)	3.2	(n=5)	3.1	
関東・甲信越	(n=16)	3.4	(n=17)	3.1	(n=17)	2.4	(n=16)	2.7	(n=16)	2.8	
中部	(n=11)	2.7	(n=12)	2.2	(n=12)	2.2	(n=12)	2.0	(n=13)	1.9	
近畿	(n=10)	5.4	(n=10)	4.2	(n=10)	3.5	(n=10)	3.5	(n=11)	3.3	
中国・四国	(n=4)	3.5	(n=4)	2.9	(n=5)	2.3	(n=5)	1.9	(n=5)	2.1	
九州・沖縄	(n=2)	4.7	(n=2)	5.0	(n=2)	5.5	(n=5)	3.7	(n=6)	3.6	

IV. 定員充足率の推移

定員充足率の推移を各課程別に比較したところ、助産師課程では平成20年度、平成21年度ともに100%を超え、安定した定員充足率を維持している。また、看護師3年課程の充足率は98%から103%の間で推移しており、比較的安定している。一方、看護師2年課程では平成20年度に続き低下しており、平成21年度は95%の定員充足率であった。准看護師課程では平成20年度に続き低下しており、平成21年度は95%の定員充足率であった。准看護師課程では平成17年度～20年度の4年間については、いずれも定員充足率は100%に達していなかったが、平成21年度については100%を上回った。

1. 定員充足率の推移

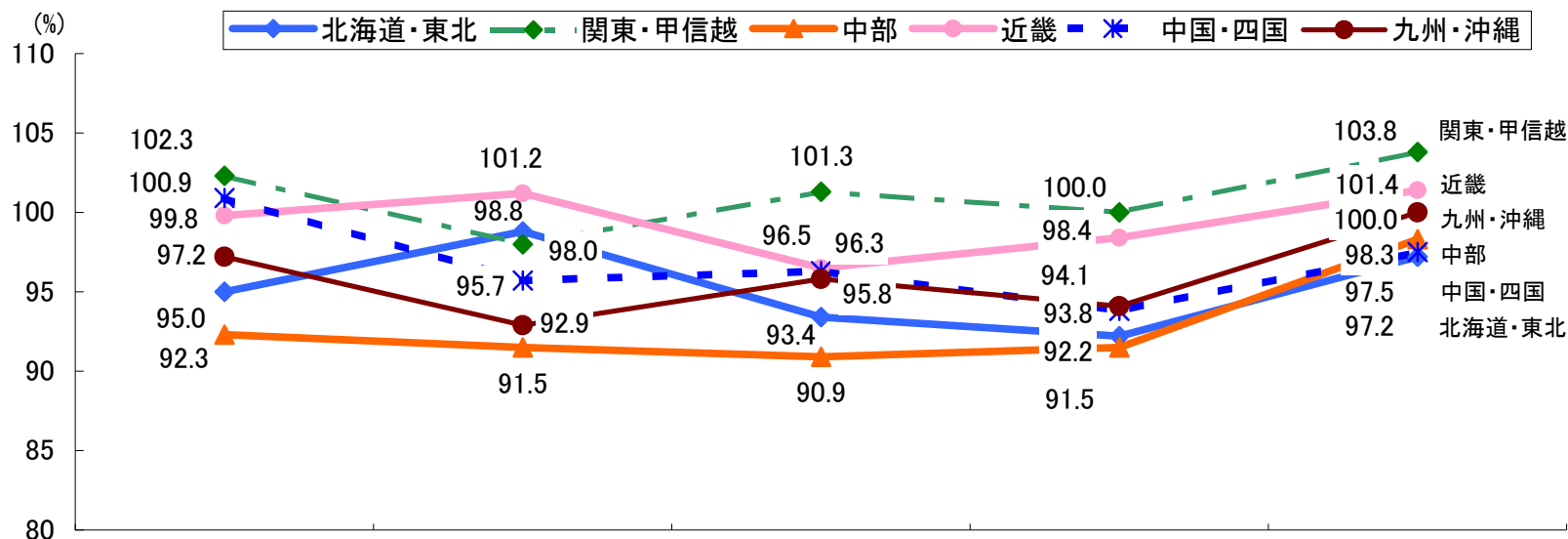


	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	回答校数	充足率	回答校数	充足率	回答校数	充足率	回答校数	充足率	回答校数	充足率
准看護師課程	(n=227)	98.7	(n=223)	96.2	(n=218)	96.9	(n=215)	95.7	(n=209)	100.3
看護師2年課程	(n=101)	101.4	(n=97)	101.2	(n=95)	100.4	(n=94)	96.2	(n=91)	94.6
看護師3年課程	(n=44)	103.1	(n=48)	97.9	(n=50)	100.5	(n=53)	100.1	(n=56)	101.7
助産師課程	-	-	-	-	-	-	(n=4)	100.0	(n=5)	101.0

IV. 定員充足率の推移

准看護師課程における定員充足率の推移を地域別に比較してみた。平成21年度はいずれの地域でも定員充足率は増加しており、「関東・甲信越」「近畿」「九州・沖縄」は100%を超えた。上昇幅の最も大きい地域は「中部」で平成20年度の92%に比べ6ポイント上昇し98%であった。

2-1. 定員充足率の推移（准看護師課程） ＜地域別＞

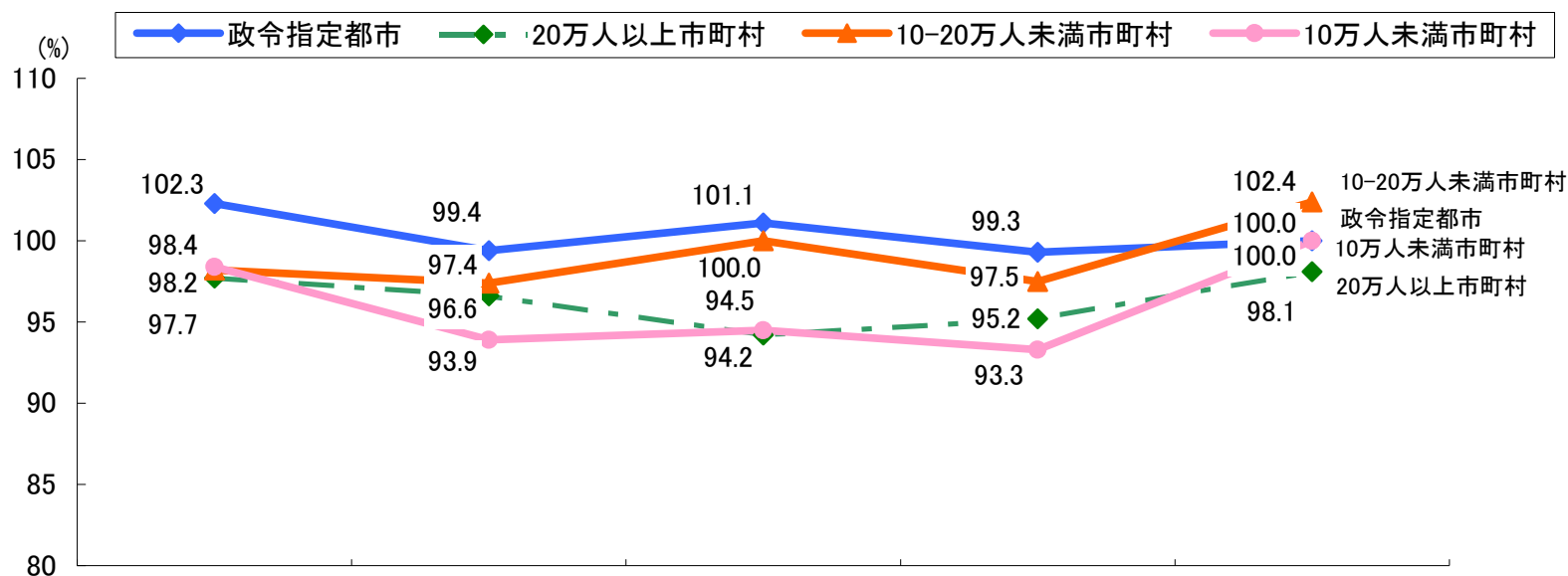


	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		(%)
	回答校数	充足率	回答校数	充足率	回答校数	充足率	回答校数	充足率	回答校数	充足率	
北海道・東北	(n=32)	95.0	(n=30)	98.8	(n=29)	93.4	(n=29)	92.2	(n=29)	97.2	
関東・甲信越	(n=67)	102.3	(n=67)	98.0	(n=67)	101.3	(n=66)	100.0	(n=64)	103.8	
中部	(n=22)	92.3	(n=21)	91.5	(n=20)	90.9	(n=19)	91.5	(n=18)	98.3	
近畿	(n=18)	99.8	(n=17)	101.2	(n=17)	96.5	(n=16)	98.4	(n=14)	101.4	
中国・四国	(n=35)	100.9	(n=35)	95.7	(n=34)	96.3	(n=34)	93.8	(n=34)	97.5	
九州・沖縄	(n=53)	97.2	(n=53)	92.9	(n=51)	95.8	(n=51)	94.1	(n=50)	100.0	

IV. 定員充足率の推移

准看護師課程における定員充足率の推移を人口区別に比較してみた。10万人未満市町村では、平成18年度から平成20年度にかけて定員充足率が95%を割り込んでいたが、平成21年度は100%であった。20万以上市町村でも平成19年度、平成20年度は95%前後で推移していたが、平成21年度定員充足率は増加した。

2-2. 定員充足率の推移（准看護師課程） ＜人口区分別＞

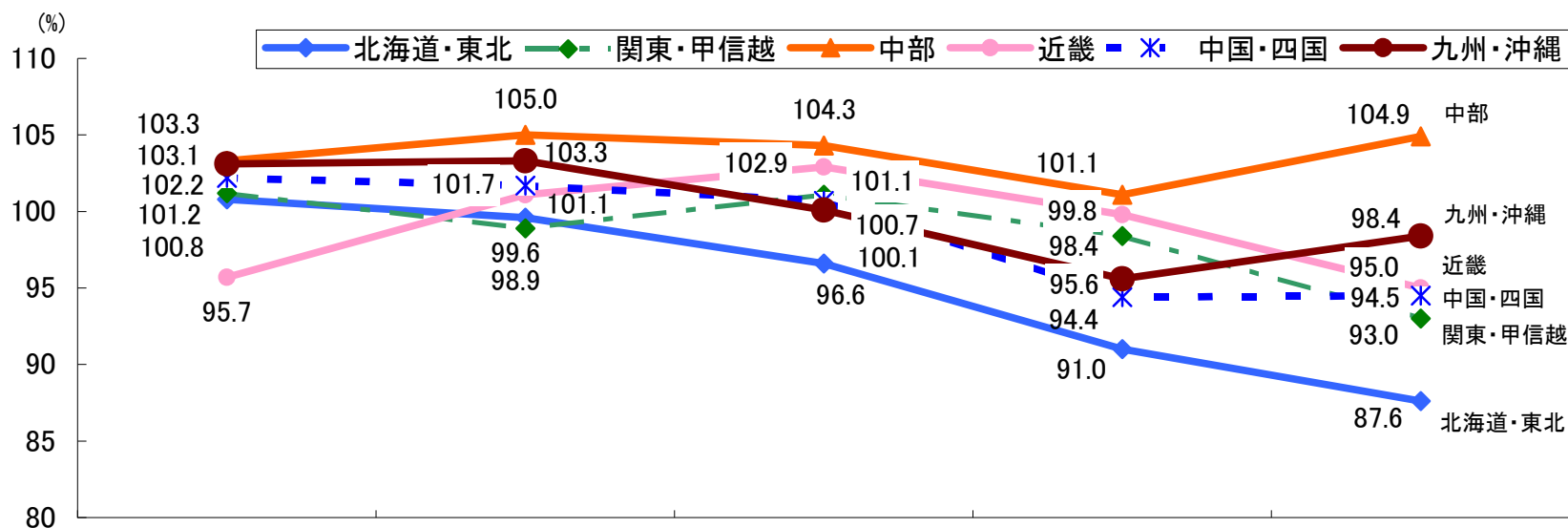


	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度 (%)	
	回答校数	充足率	回答校数	充足率	回答校数	充足率	回答校数	充足率	回答校数	充足率
政令指定都市	(n=28)	102.3	(n=28)	99.4	(n=28)	101.1	(n=28)	99.3	(n=28)	100.0
20万人以上市町村	(n=48)	97.7	(n=46)	96.6	(n=45)	94.2	(n=44)	95.2	(n=42)	98.1
10-20万人未満市町村	(n=65)	98.2	(n=63)	97.4	(n=62)	100.0	(n=62)	97.5	(n=61)	102.4
10万人未満市町村	(n=86)	98.4	(n=86)	93.9	(n=83)	94.5	(n=81)	93.3	(n=78)	100.0

IV. 定員充足率の推移

看護師2年課程における定員充足率の推移を地域別に比較したところ、「中部」「中国・四国」「九州・沖縄」では平成20年度に比べ増加に転じている。一方で「関東・甲信越」「近畿」「北海道・東北」については定員充足率は低下しており、特に「関東・甲信越」「近畿」では平成20年度に比べ5ポイント近くスコアを下げている。また、「北海道・東北」は年々スコアを下げており、平成17年度と比較すると87%の水準となっている。

3. 定員充足率の推移（看護師2年課程） ＜地域別＞

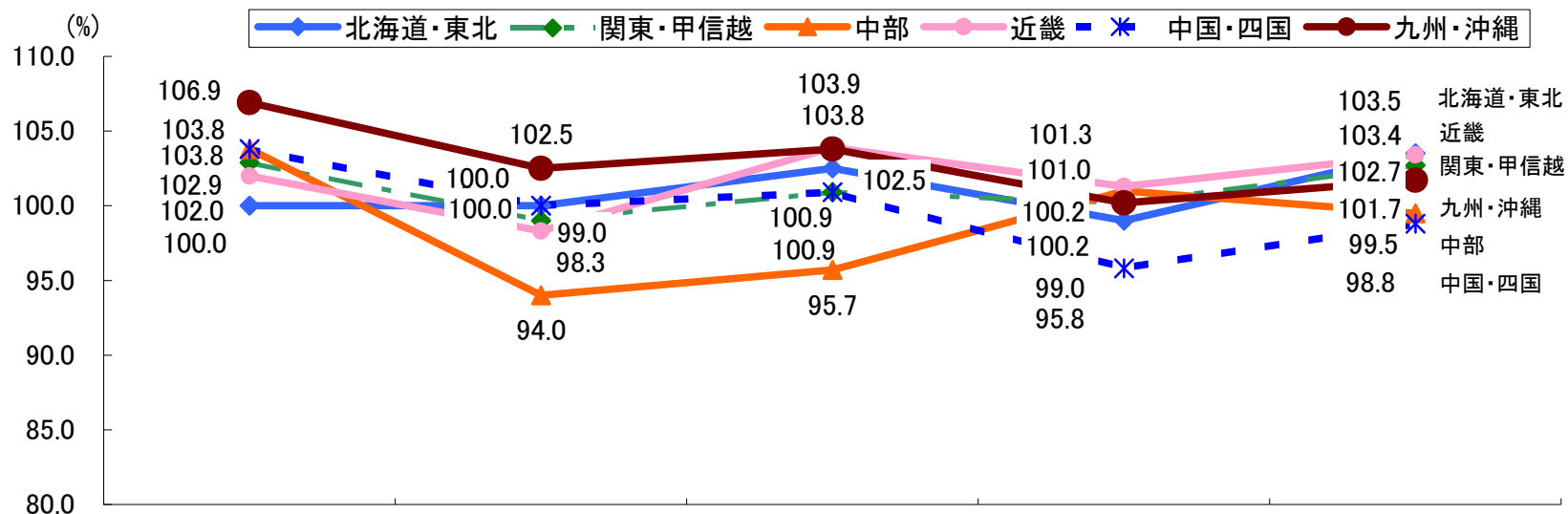


	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	回答校数	充足率	回答校数	充足率	回答校数	充足率	回答校数	充足率	回答校数	充足率
北海道・東北	(n=15)	100.8	(n=14)	99.6	(n=13)	96.6	(n=12)	91.0	(n=12)	87.6
関東・甲信越	(n=28)	101.2	(n=28)	98.9	(n=28)	101.1	(n=28)	98.4	(n=28)	93.0
中部	(n=4)	103.3	(n=4)	105.0	(n=4)	104.3	(n=4)	101.1	(n=3)	104.9
近畿	(n=10)	95.7	(n=8)	101.1	(n=8)	102.9	(n=8)	99.8	(n=8)	95.0
中国・四国	(n=15)	102.2	(n=15)	101.7	(n=15)	100.7	(n=15)	94.4	(n=15)	94.5
九州・沖縄	(n=29)	103.1	(n=28)	103.3	(n=27)	100.1	(n=27)	95.6	(n=25)	98.4

IV. 定員充足率の推移

看護師3年課程における定員充足率の推移を地域別に比較したところ、「中部」を除く全ての地域で平成20年度に比べ上昇している。特に「北海道・東北」では5ポイント近く上昇。一方「中部」については平成20年度に比べ2ポイント程度低下した。

4. 定員充足率の推移（看護師3年課程） ＜地域別＞

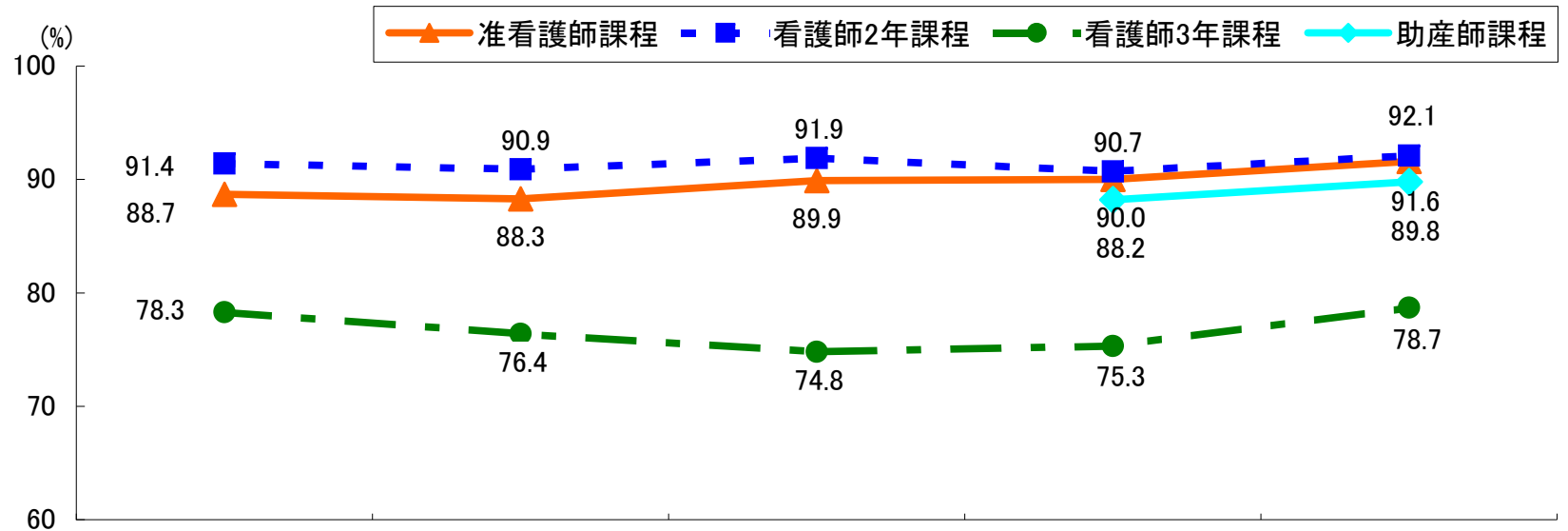


	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	回答校数	充足率	回答校数	充足率	回答校数	充足率	回答校数	充足率	回答校数	充足率
北海道・東北	(n=1)	100.0	(n=3)	100.0	(n=4)	102.5	(n=5)	99.0	(n=5)	103.5
関東・甲信越	(n=16)	102.9	(n=17)	99.0	(n=17)	100.9	(n=16)	100.2	(n=16)	102.7
中部	(n=11)	103.8	(n=12)	94.0	(n=12)	95.7	(n=12)	101.0	(n=13)	99.5
近畿	(n=10)	102.0	(n=10)	98.3	(n=10)	103.9	(n=10)	101.3	(n=11)	103.4
中国・四国	(n=4)	103.8	(n=4)	100.0	(n=5)	100.9	(n=5)	95.8	(n=5)	98.8
九州・沖縄	(n=2)	106.9	(n=2)	102.5	(n=2)	103.8	(n=5)	100.2	(n=6)	101.7

V. 入学率の推移

入学率の推移を各課程ごとに比較してみた。准看護師課程・看護師2年課程・助産師課程については9割前後の入学率で推移をしている。一方、看護師3年課程については平成21年度は平成20年度と比較するとやや入学率が上がるものの、毎年8割を切る低い水準で推移している。

1. 入学率の推移

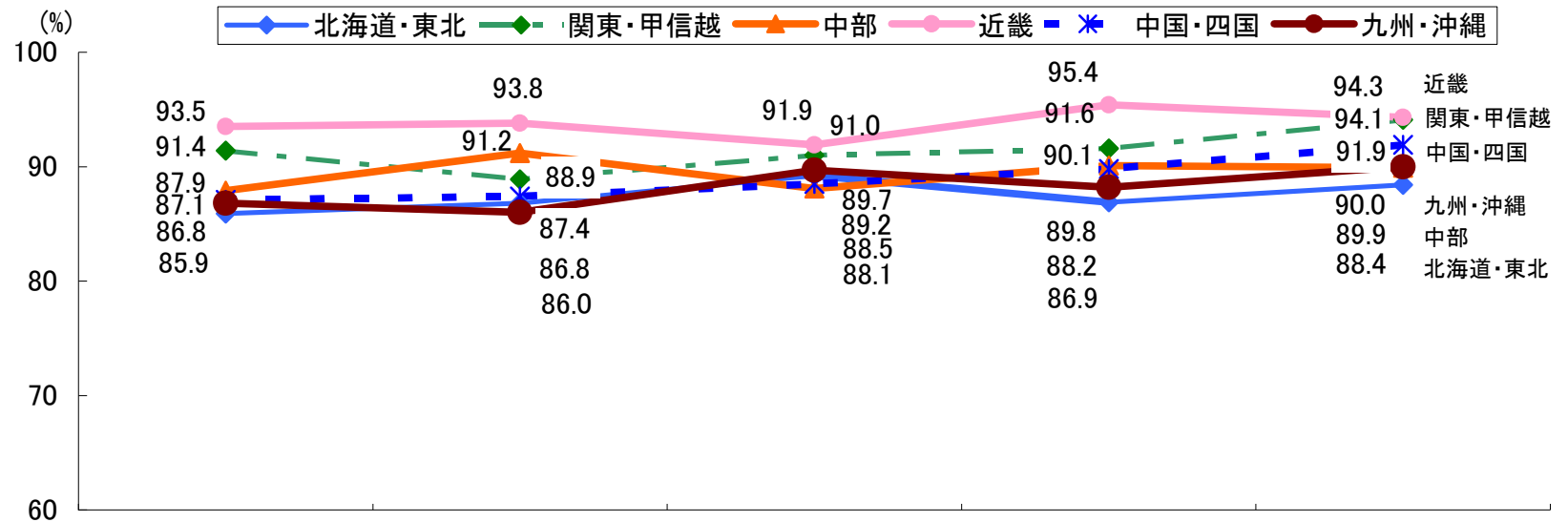


	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	回答校数	入学率	回答校数	入学率	回答校数	入学率	回答校数	入学率	回答校数	入学率
准看護師課程	(n=227)	88.7	(n=223)	88.3	(n=218)	89.9	(n=215)	90.0	(n=209)	91.6
看護師2年課程	(n=101)	91.4	(n=97)	90.9	(n=95)	91.9	(n=94)	90.7	(n=91)	92.1
看護師3年課程	(n=44)	78.3	(n=48)	76.4	(n=50)	74.8	(n=53)	75.3	(n=56)	78.7
助産師課程	-	-	-	-	-	-	(n=4)	88.2	(n=5)	89.8

V. 入学率の推移

准看護師課程の入学率を地域別に見たところ、安定して高い水準なのは「近畿」で、いずれの年度も9割を越えているが、平成20年度と平成21年度を比較すると微減している。近畿・中部以外の地域は平成20年度に比べ入学率は微増している。

2-1. 入学率の推移（准看護師課程） ＜地域別＞

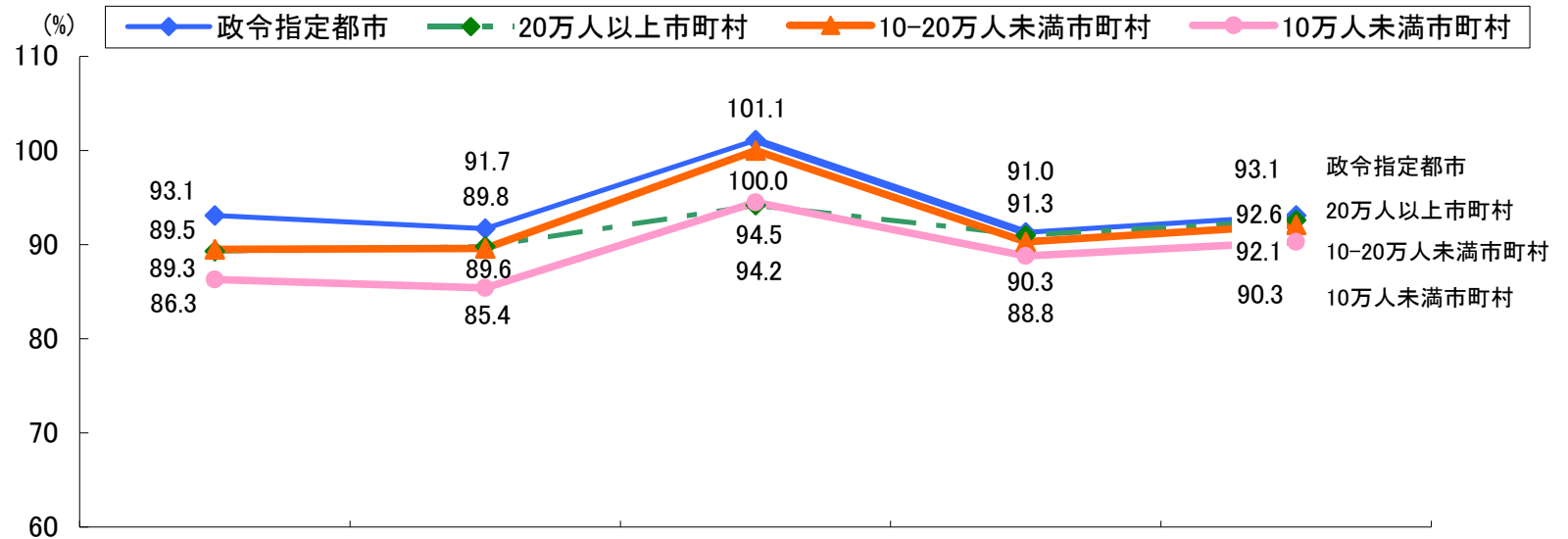


	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	回答校数	入学率	回答校数	入学率	回答校数	入学率	回答校数	入学率	回答校数	入学率
北海道・東北	(n=32)	85.9	(n=30)	86.8	(n=29)	89.2	(n=29)	86.9	(n=29)	88.4
関東・甲信越	(n=67)	91.4	(n=67)	88.9	(n=67)	91.0	(n=66)	91.6	(n=64)	94.1
中部	(n=22)	87.9	(n=21)	91.2	(n=20)	88.1	(n=19)	90.1	(n=18)	89.9
近畿	(n=18)	93.5	(n=17)	93.8	(n=17)	91.9	(n=16)	95.4	(n=14)	94.3
中国・四国	(n=35)	87.1	(n=35)	87.4	(n=34)	88.5	(n=34)	89.8	(n=34)	91.9
九州・沖縄	(n=53)	86.8	(n=53)	86.0	(n=51)	89.7	(n=51)	88.2	(n=50)	90.0

V. 入学率の推移

准看護師課程の入学率を人口区分別に見たところ、政令指定都市が93%と高い。いずれの人口区分においても平成20年度と比べて微増しているが、平成19年度の水準には達していない。

2-2. 入学率の推移（准看護師課程） ＜人口区分別＞

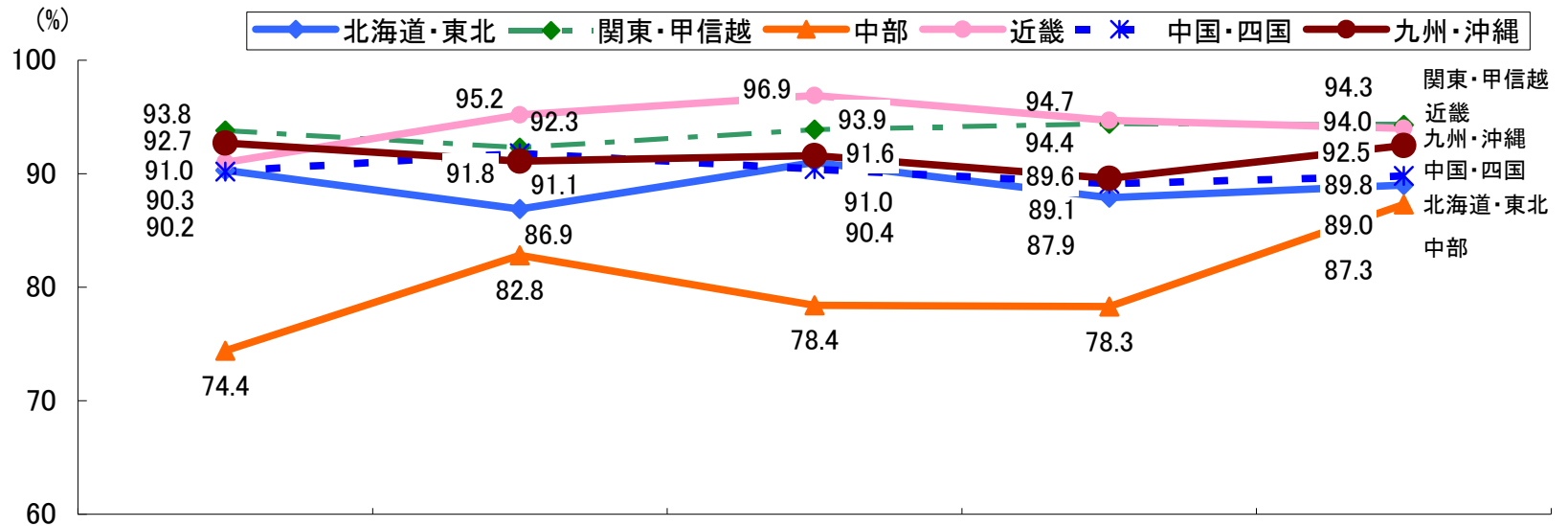


	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	回答校数	入学率	回答校数	入学率	回答校数	入学率	回答校数	入学率	回答校数	入学率
政令指定都市	(n=28)	93.1	(n=28)	91.7	(n=28)	101.1	(n=28)	91.3	(n=28)	93.1
20万人以上市町村	(n=48)	89.3	(n=46)	89.8	(n=45)	94.2	(n=44)	91.0	(n=42)	92.6
10-20万人未満市町村	(n=65)	89.5	(n=63)	89.6	(n=62)	100.0	(n=62)	90.3	(n=61)	92.1
10万人未満市町村	(n=86)	86.3	(n=86)	85.4	(n=83)	94.5	(n=81)	88.8	(n=78)	90.3

V. 入学率の推移

看護師2年課程の入学率の推移を地域別に見たところ、「中部」については平成20年度には78%であったものが、平成21年度では10ポイント近くスコアを伸ばし87%となった。
 毎年高い水準で推移しているのは「近畿」、「関東・甲信越」であり、この2地域については多少変動はあるものの、入学率は9割を毎年超え安定している。

3. 入学率の推移（看護師2年課程） <地域別>

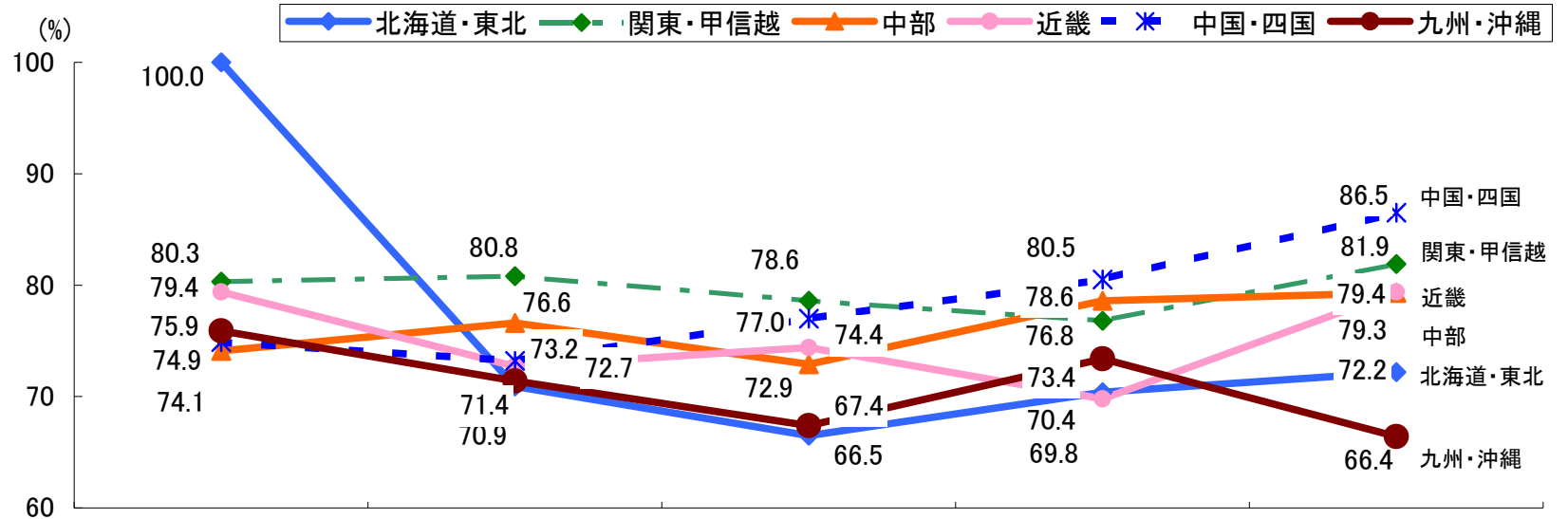


	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	回答校数	入学率	回答校数	入学率	回答校数	入学率	回答校数	入学率	回答校数	入学率
北海道・東北	(n=15)	90.3	(n=14)	86.9	(n=13)	91.0	(n=12)	87.9	(n=12)	89.0
関東・甲信越	(n=28)	93.8	(n=28)	92.3	(n=28)	93.9	(n=28)	94.4	(n=28)	94.3
中部	(n=4)	74.4	(n=4)	82.8	(n=4)	78.4	(n=4)	78.3	(n=3)	87.3
近畿	(n=10)	91.0	(n=8)	95.2	(n=8)	96.9	(n=8)	94.7	(n=8)	94.0
中国・四国	(n=15)	90.2	(n=15)	91.8	(n=15)	90.4	(n=15)	89.1	(n=15)	89.8
九州・沖縄	(n=29)	92.7	(n=28)	91.1	(n=27)	91.6	(n=27)	89.6	(n=25)	92.5

V. 入学率の推移

看護師3年課程の入学率の推移を地域別に見たところ、平成20年度と平成21年度を比較すると「九州・沖縄」では7ポイントスコアを下けているが、その他の地域は上昇している。特に近畿での上昇が大きく、平成20年度に比べると10ポイント近くスコアを伸ばしている。

4. 入学率の推移（看護師3年課程） ＜地域別＞



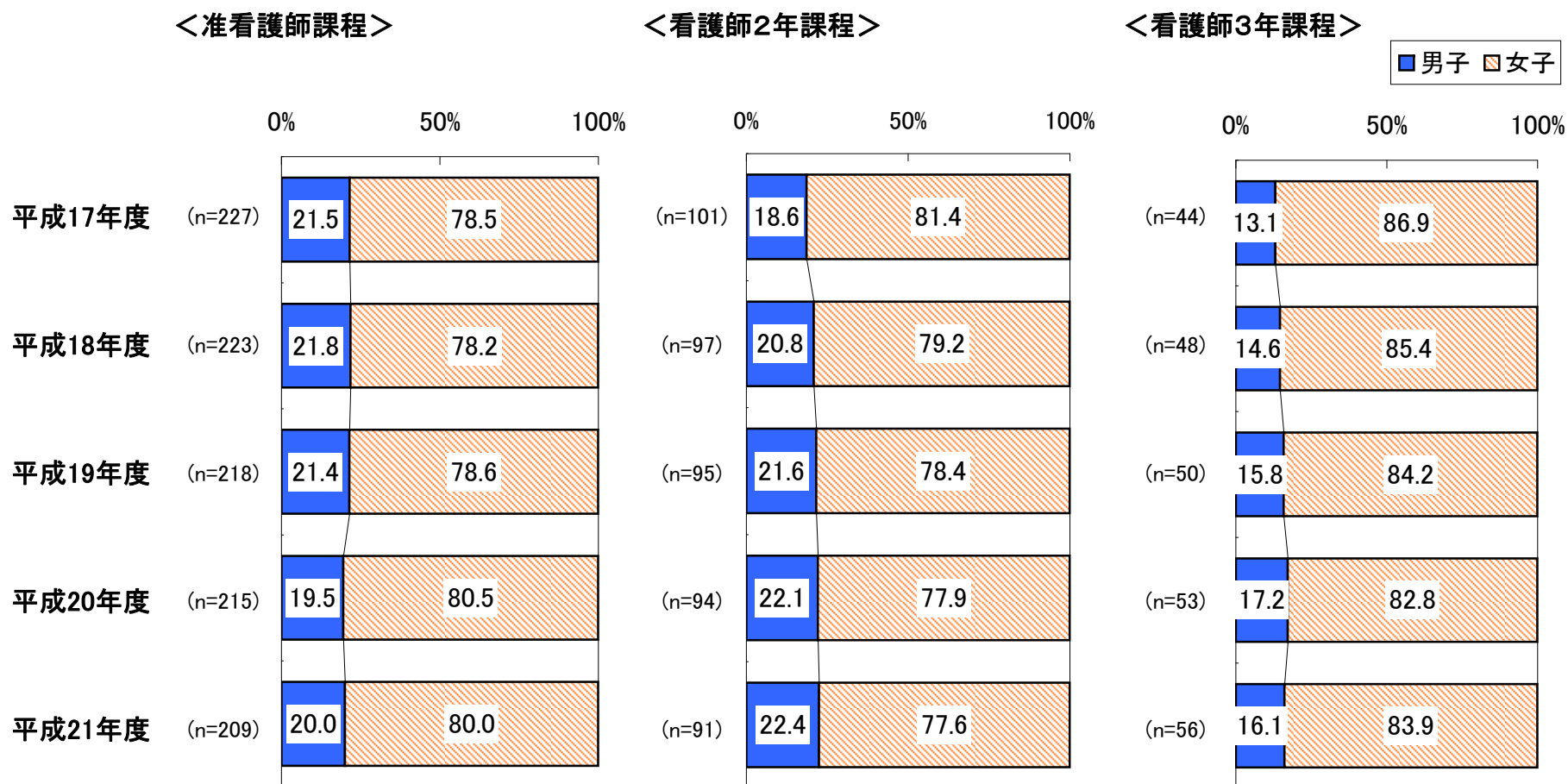
	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	回答校数	入学率	回答校数	入学率	回答校数	入学率	回答校数	入学率	回答校数	入学率
北海道・東北	(n=1)	100.0	(n=3)	70.9	(n=4)	66.5	(n=5)	70.4	(n=5)	72.2
関東・甲信越	(n=16)	80.3	(n=17)	80.8	(n=17)	78.6	(n=16)	76.8	(n=16)	81.9
中部	(n=11)	74.1	(n=12)	76.6	(n=12)	72.9	(n=12)	78.6	(n=13)	79.3
近畿	(n=10)	79.4	(n=10)	72.7	(n=10)	74.4	(n=10)	69.8	(n=11)	79.4
中国・四国	(n=4)	74.9	(n=4)	73.2	(n=5)	77.0	(n=5)	80.5	(n=5)	86.5
九州・沖縄	(n=2)	75.9	(n=2)	71.4	(n=2)	67.4	(n=5)	73.4	(n=6)	66.4

VI. 男子生徒率の推移

男子生徒率の推移を比較したところ、平成21年度は准看護師課程・看護師2年課程で男子生徒率が20%程度であった。また、看護師3年課程では平成17年度と比較すると除々に男子生徒率の割合は増えているものの、平成21年度は16%にとどまった。

1-1. 男子生徒率の推移

* 各校の平均比率 (n=回答校数)

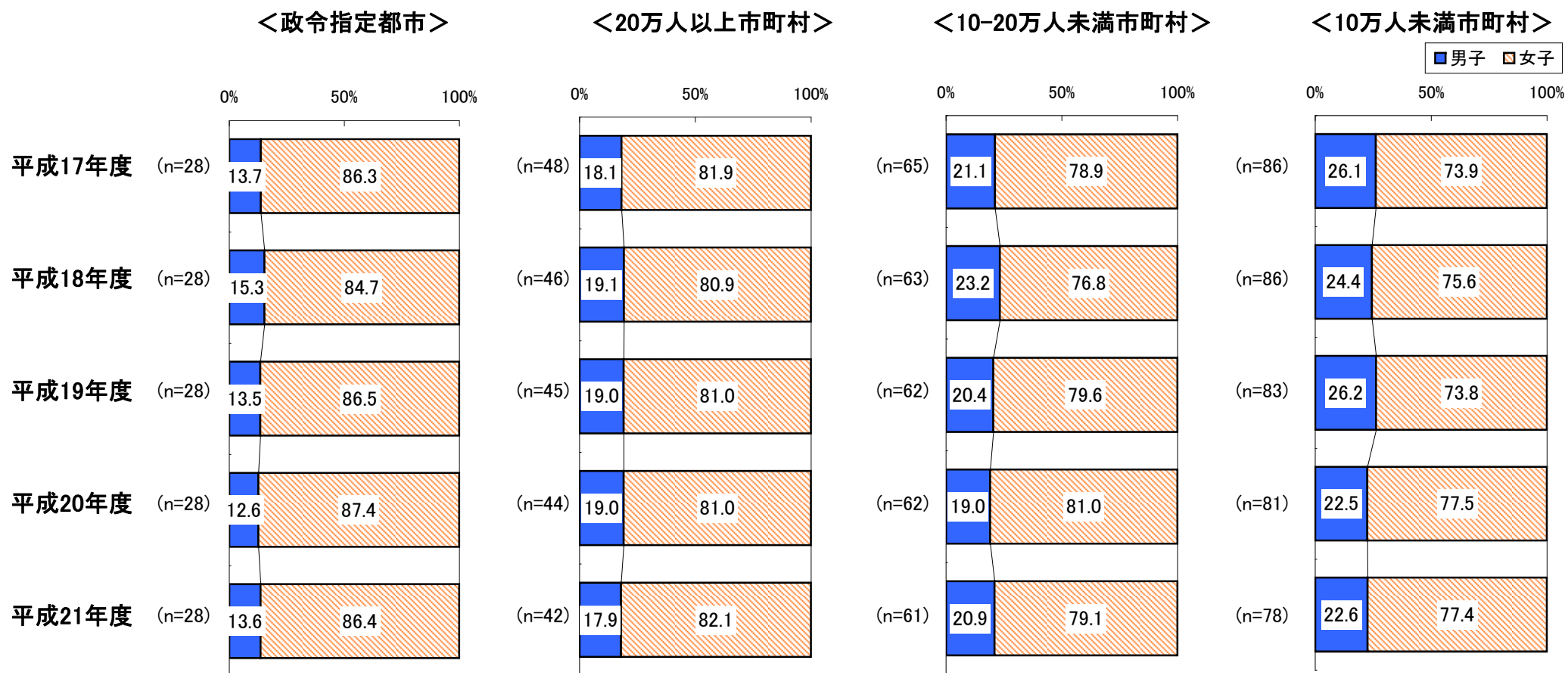


VI. 男子生徒率の推移

男子生徒率の推移を人口区別に比較してみた。いずれの年度においても10万人未満市町村の男子生徒率が一番高い。しかし年々減少傾向がみられる。

1-2. 男子生徒率の推移 ＜人口区分別＞

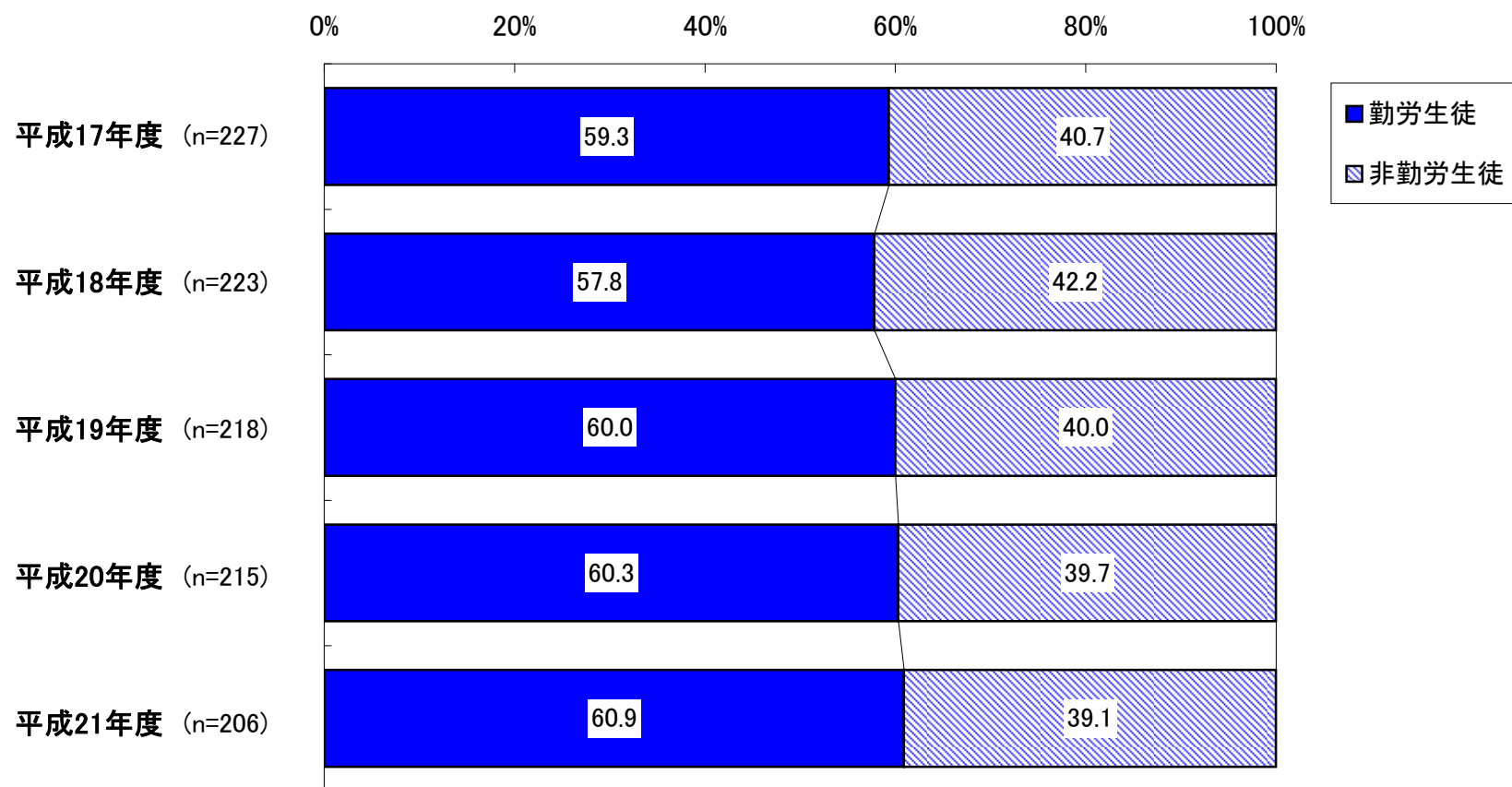
* 各校の平均比率 (n=回答校数)



Ⅶ. 勤労生徒率の推移

准看護師課程における勤労生徒率は約6割で推移しており、ここ何年かで大きな変動は見られない。

1-1. 勤労生徒率の推移（准看護師課程） * 各校の平均比率（n=回答校数）

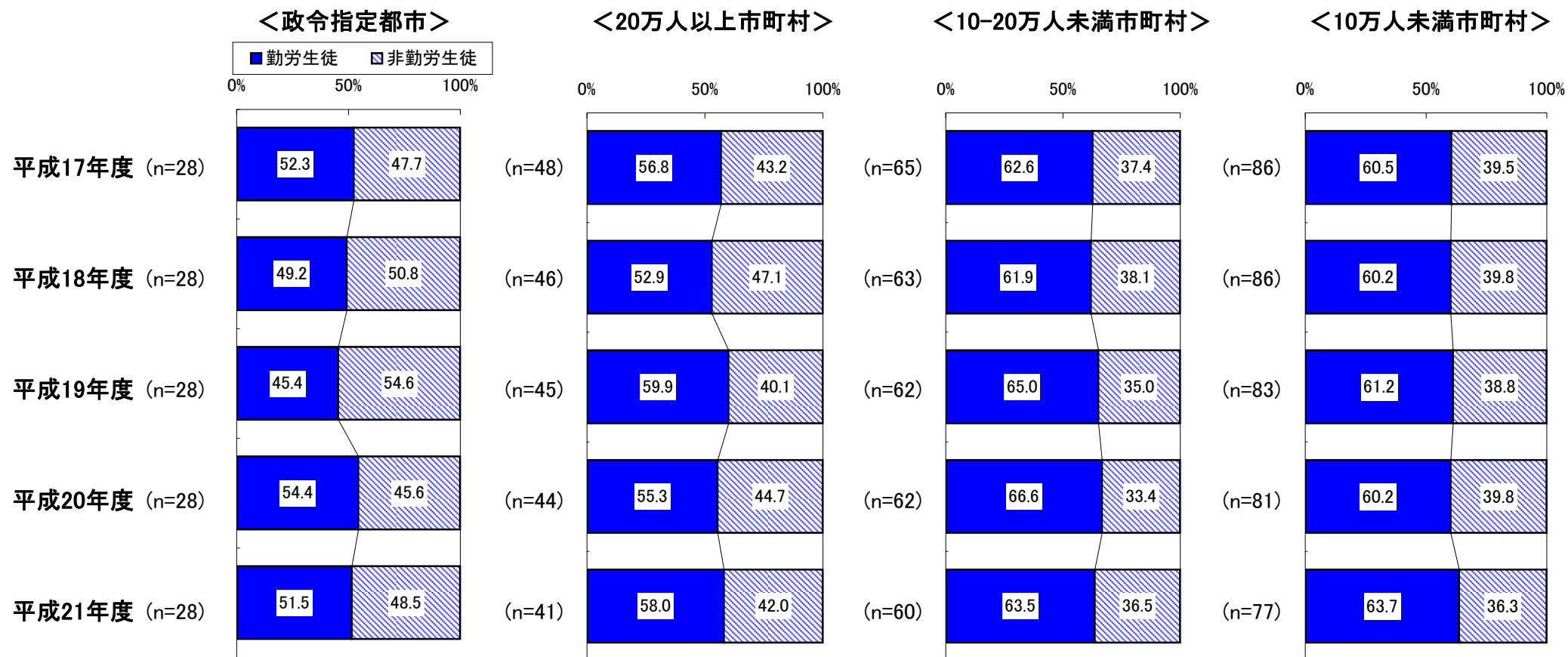


VII. 勤労生徒率の推移

准看護師課程における勤労生徒率を人口区別に比較したところ、政令指定都市では最も勤労生徒率の割合が低く5割前後で推移している。一方で20万人未満市町村では、いずれの年も6割超で推移している。

1-2. 勤労生徒率の推移（准看護師課程） ＜人口区分別＞

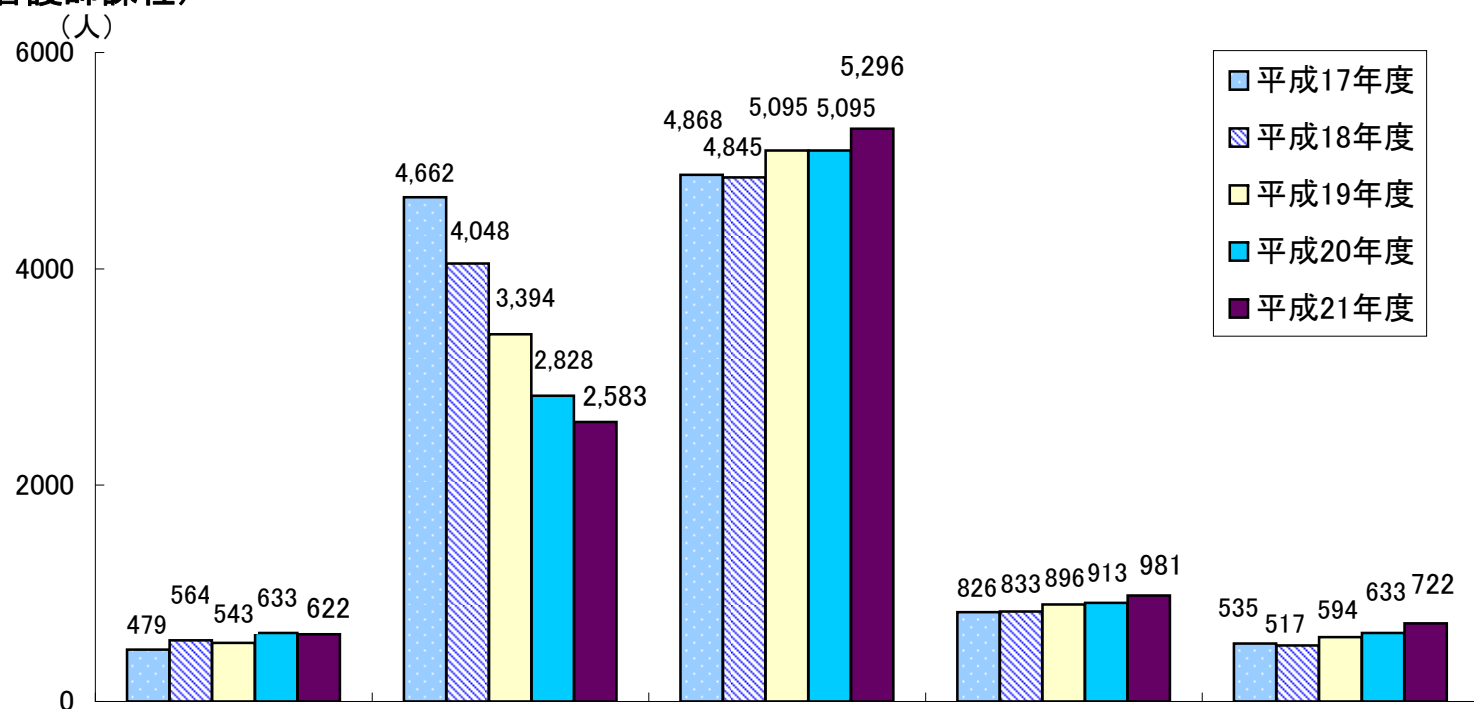
* 各校の平均比率 (n=回答校数)



VIII. 最終学歴の推移

准看護師課程の最終学歴を見ると、最も多いのは「高校既卒」で5千3百人と全体の5割を占めており、続いて「高校新卒」となっている。「高校既卒」「短大卒」「大卒」については平成20年度と平成21年を比べるとわずかではあるが人数が増加している。「高校新卒」は平成17年度と比べると、平成21年度では半減している。

1. 最終学歴の人数（准看護師課程）



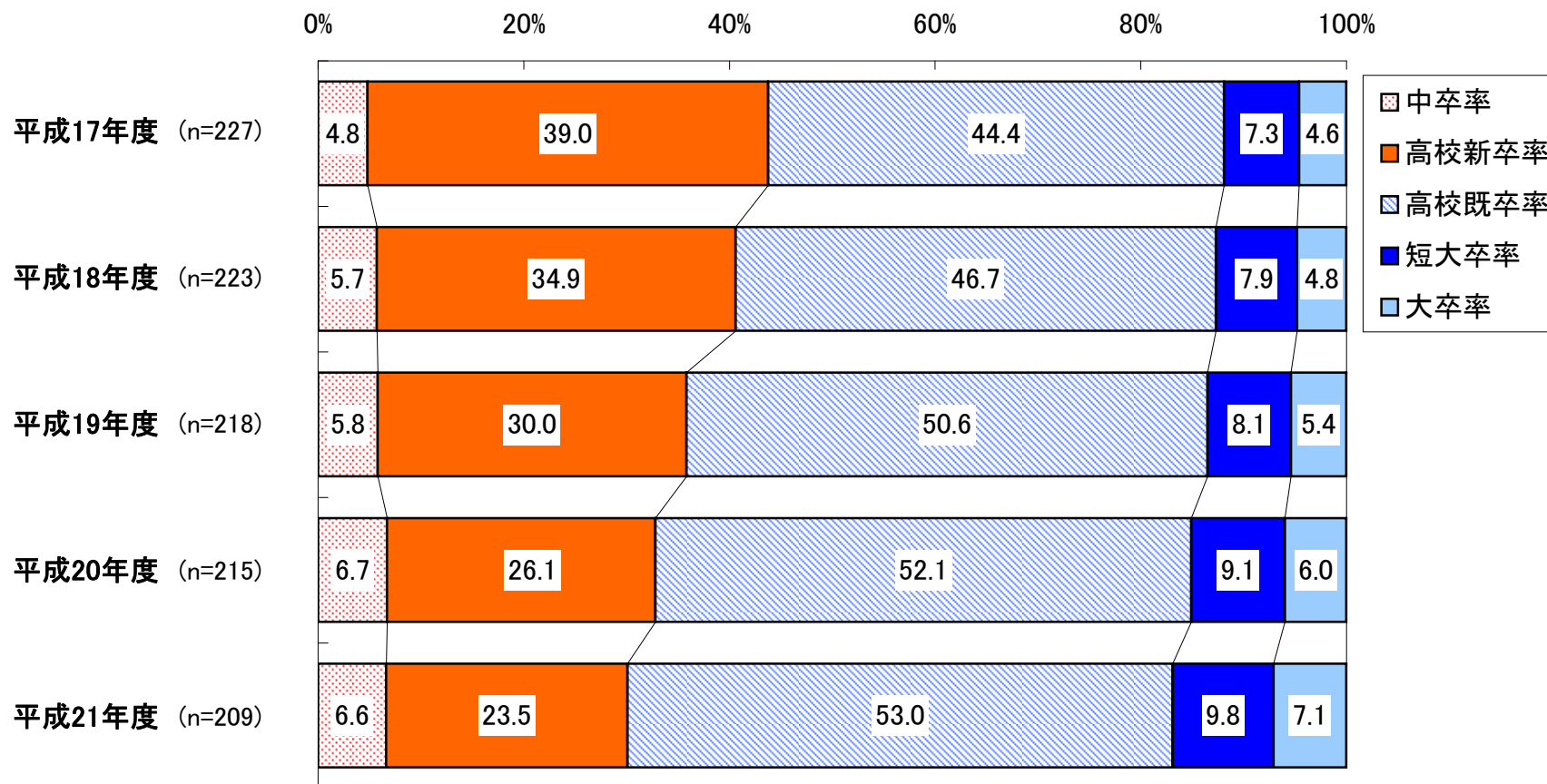
	回答校数	中卒	高校新卒	高校既卒	短大卒	大卒	(人)
平成17年度	227	479	4,662	4,868	826	535	
平成18年度	223	564	4,048	4,845	833	517	
平成19年度	218	543	3,394	5,095	896	594	
平成20年度	215	633	2,828	5,095	913	633	
平成21年度	209	622	2,583	5,296	981	722	

VIII. 最終学歴の推移

准看護師課程の最終学歴の割合を見たところ、「高校新卒」の割合が年々低くなっている。代わりに増えているのが「高校既卒」で、平成21年度は全体の53%を占めた。また「短大卒」・「大卒」も小幅ではあるが増加傾向となっており、平成21年度は「短大卒」+「大卒」をあわせると17%であった。

2. 最終学歴の割合（准看護師課程）

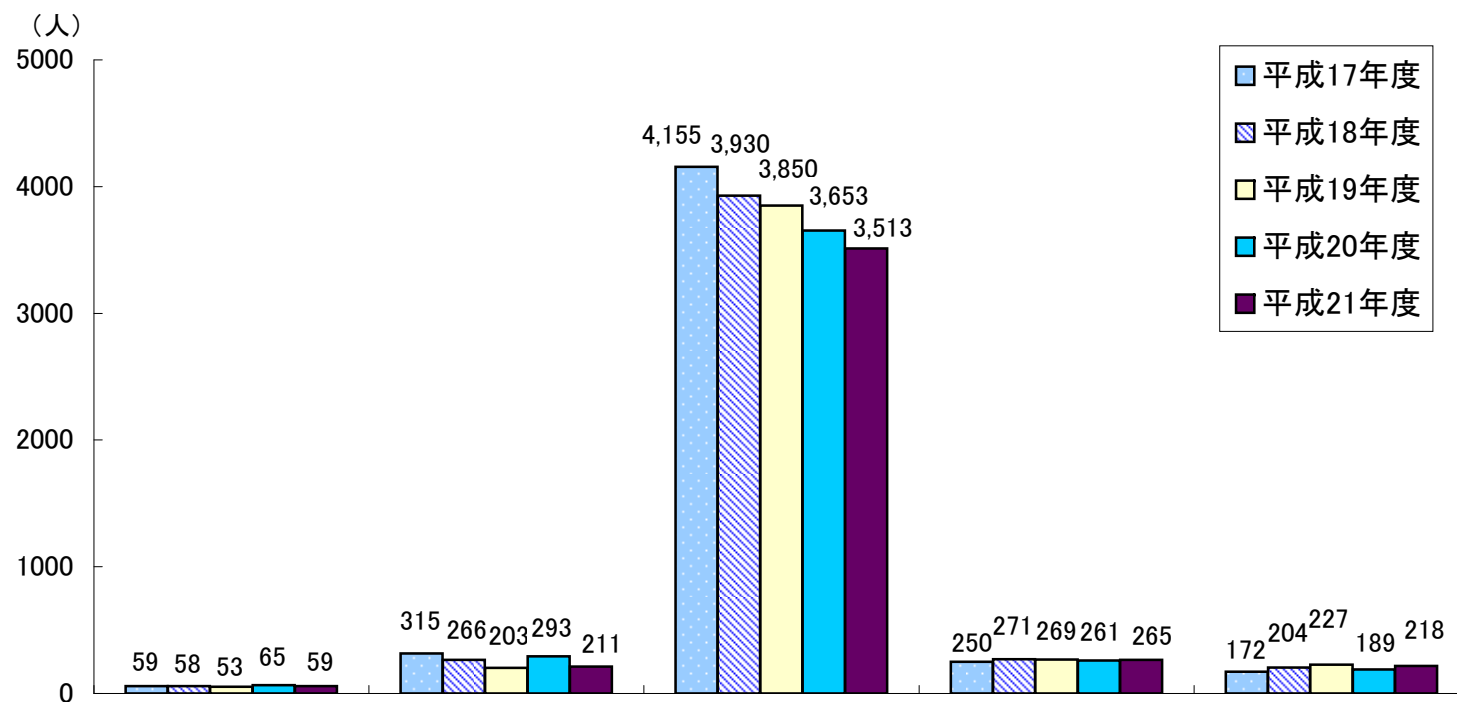
* 各校の平均比率（n=回答校数）



VIII. 最終学歴の推移

看護師2年課程の最終学歴の推移を見ると、平成20年度と平成21年度を比較すると、「高校新卒」は28%減の211人となり減少幅が大きい。また「高校既卒」も平成17年度と平成21年度を比較すると16%減の3千5百人であった。平成17年度に比べて学校数が減少している中で、「中卒」は横ばいであるが、「短大卒」「大卒」は増加している。

3. 最終学歴の人数（看護師2年課程）



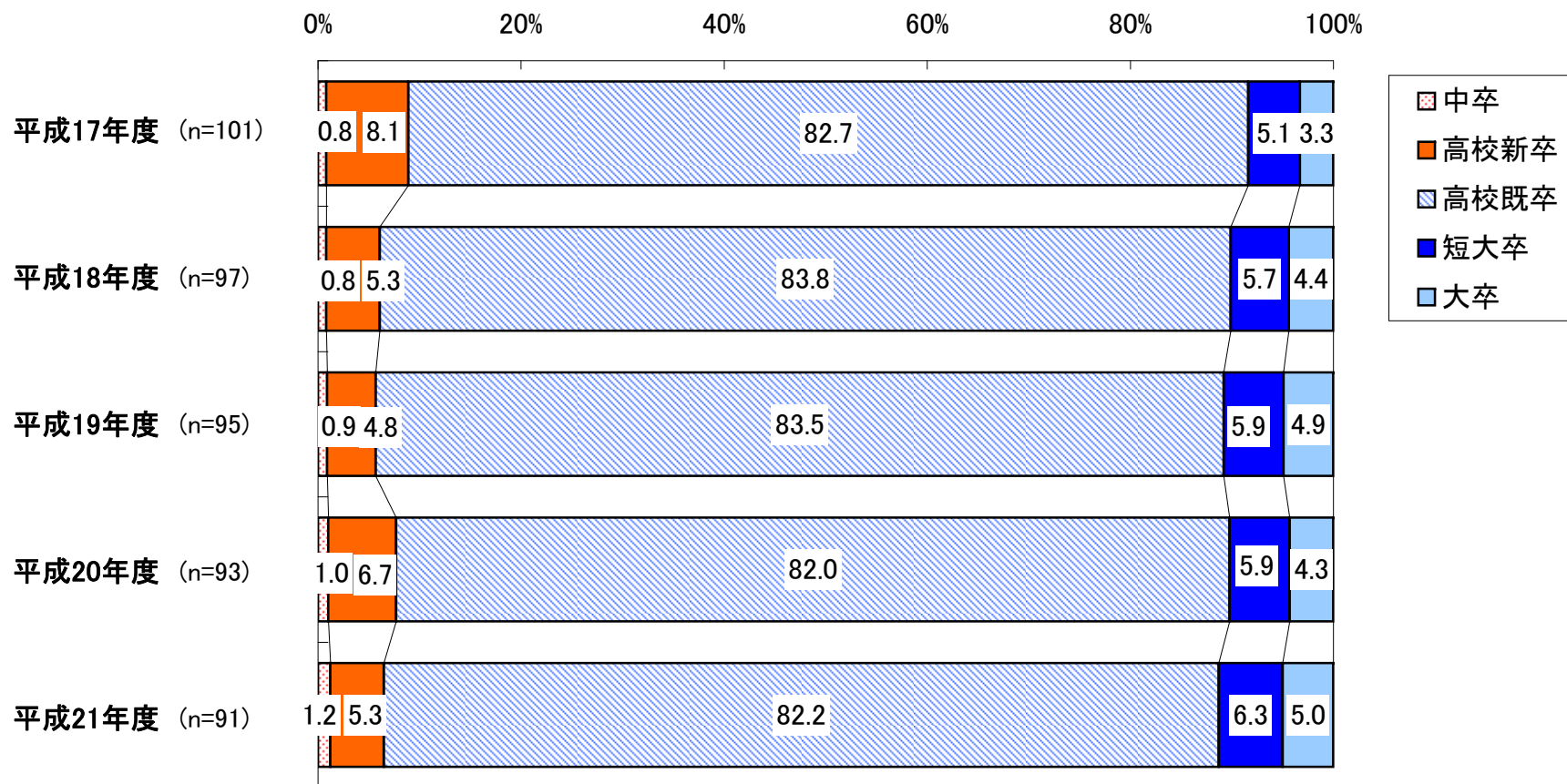
	回答校数	中卒	高校新卒	高校既卒	短大卒	大卒	(人)
平成17年度	101	59	315	4,155	250	172	
平成18年度	97	58	266	3,930	271	204	
平成19年度	95	53	203	3,850	269	227	
平成20年度	94	65	293	3,653	261	189	
平成21年度	91	59	211	3,513	265	218	

VIII. 最終学歴の推移

看護師2年課程における最終学歴の割合は、「高校既卒」が8割超で目立った変化はない。

4. 最終学歴の割合（看護師2年課程）

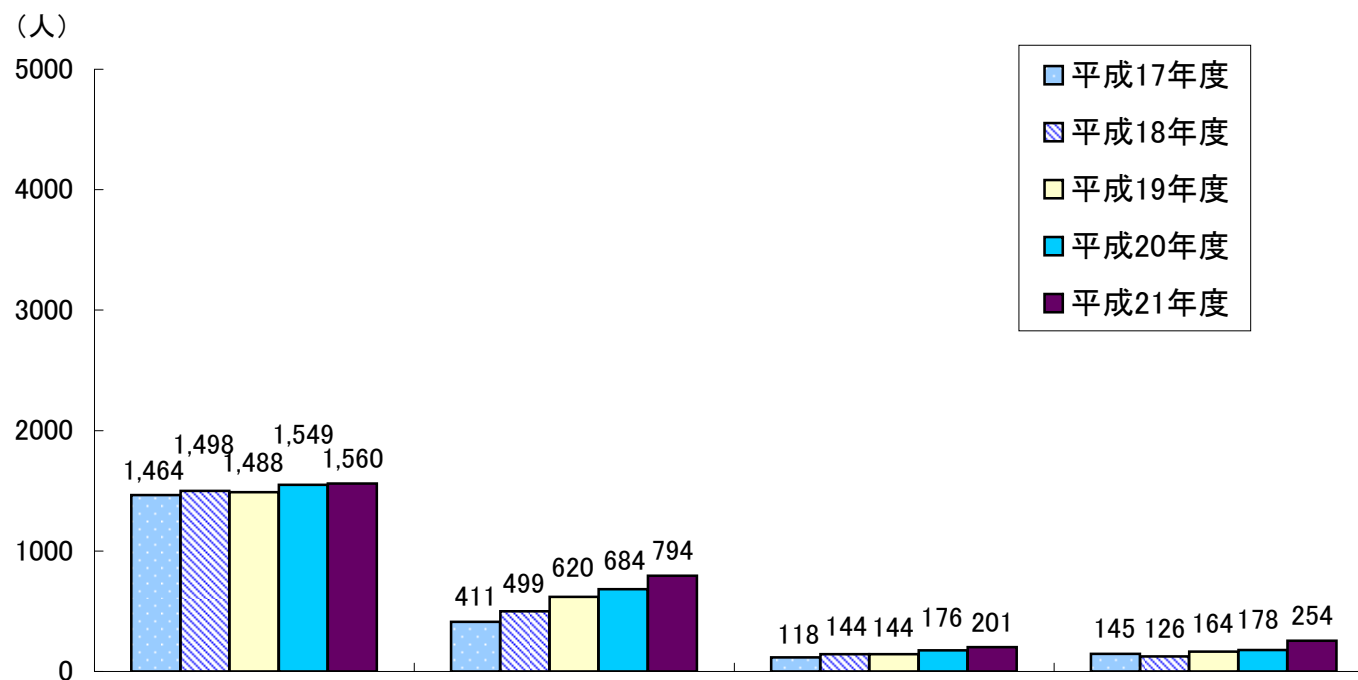
* 各校の平均比率 (n=回答校数)



VIII. 最終学歴の推移

看護師3年課程の最終学歴を見ると、学校数の増加に伴い入学者の人数が伸びており、すべての学歴で増加している。特に伸びているのが「大卒」で平成20年度と平成21年度を比較すると43%の増加の254人となっている。

5. 最終学歴の人数（看護師3年課程）



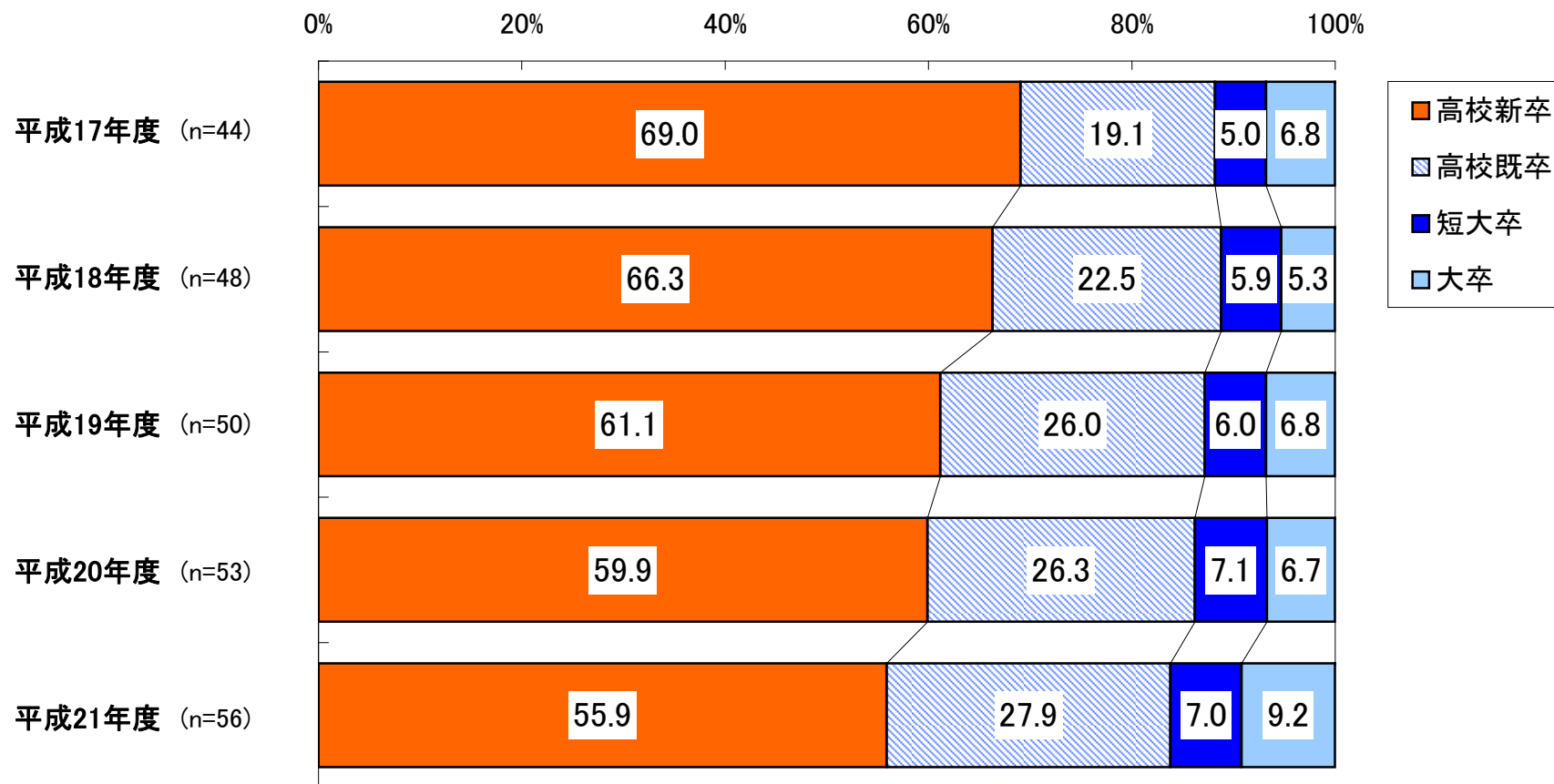
	回答校数	高校新卒	高校既卒	短大卒	大卒	(人)
平成17年度	44	1,464	411	118	145	
平成18年度	48	1,498	499	144	126	
平成19年度	50	1,488	620	144	164	
平成20年度	53	1,549	684	176	178	
平成21年度	56	1,560	794	201	254	

VIII. 最終学歴の推移

看護師3年課程における最終学歴の割合を見たところ、「高校新卒」の割合は毎年減っており、平成21年度は6割を切り56%であったが、依然高い割合を占める。一方「高校既卒」の割合は、毎年増加しており、平成21年度は3割に迫る勢いである。また「大卒」の割合もわずかではあるが増加している。

6. 最終学歴の割合（看護師3年課程）

* 各校の平均比率 (n=回答校数)



まとめ

1. 入学状況

平成17年度からの経年変化について分析した。准看護師課程については、人口区分による分析も行った。

<准看護師課程>

- ・ 准看護師課程については、毎年学校数が微減しており、定員も、平成17年度の約1万2千人から平成21年度には約1万4百人に減少している(P9,10)。
- ・ しかし今年度は、不況の影響を受けてか、倍率が2.0倍に上昇し(平成20年度1.7倍)と過去5年間では最高倍率となった。定員充足率も100%を上回った(P14,19)。
- ・ 入学者の最終学歴の割合の推移を見ると、高校新卒者が減少し、高校既卒・短大・大卒者の増加傾向がさらに進んだ。今年度は高校既卒者が53%、短大・大卒者は16.9%にのぼり、全体の約7割を占めている。3年課程においても、高校新卒者の割合は平成17年度の69%と比較して減少しているものの、依然として55.9%と高い割合を占めることから、一旦社会に出てから看護職を志す道として、准看護師課程が大きな役割を果たしていることがわかる。
- ・ 人口区分による分析では、男子生徒率と勤労生徒率について、比較的大きな違いが見られた。すなわち、人口が少ない地域ほど、男子生徒や勤労生徒の割合が増加している(P30,32)。

<看護師2年課程>

- ・ 看護師2年課程については、准看護師学校養成所減少の影響もあり減少傾向にあるが(P9,11)、地域の看護職確保のため、3年課程に変更して引き続き看護師を養成している医師会も多い。
- ・ 定員充足率(入学者/定員)を見ると、平成17~19年度は100%を超えているが、平成20年度は96.2%、今年度はさらに減少し94.6%にとどまった(P19)。倍率は昨年度の1.6倍よりも減少したものの、1.4倍となっており、希望者はいるにもかかわらず、養成力を最大限に活かすことができなかつたと言える。入学率(入学者/合格者)を見ると平均90%前後(P24)であることから、合格しても、勤務先の事情や経済的な問題等で諦めてしまう受験者がいることが考えられる。
- ・ 応募者の減少は、業務経験10年以上を有する准看護師が、通信制に入学しているケースや、進学せずに准看護師として地域医療の現場で活躍していることが考えられる。また、不況のあおりを受けて、進学を諦めているケースも考えられる。

<看護師3年課程>

- ・ 看護師3年課程は、毎年学校養成所数が増加している(P9)。准看護師課程あるいは看護師2年課程からの課程変更によるものが多いが、新たに開設するケースもあり、各医師会の地域医療を守ろうとする姿勢の現れであると考ええる。
- ・ 3年課程で特徴的なのは、入学率(入学者/合格者)が他の課程に比べて低いことである(P24)。合格しても、大学や、学費の安い公立校へ流れていることが考えられる。
- ・ 3年課程においても、高校既卒者の割合が増えており、平成17年度は19.1%であったのが、今年度は27.9%となっている。また、大卒者の割合も増え、平成20年度6.7%に対し、今年度は9.2%であった(P38)。なお、短大・大卒者の合計は16.2%であった。

<助産師課程>

- ・ 助産師不足が叫ばれる中、平成20年度に新たに医師会立助産師学校養成所が3校開設され、今年度も1校新設された。地域の助産師を確保するために、医師会自らが学校を開設したことは、地域の産科医療崩壊に対する危機感の現れと言える。

2. 卒業状況

卒業者数、卒業延期者数について調査を行った。

- ・ 平成20年度の卒業率は、助産師課程を除くいずれの課程も80%前半に留まった(P6)。また、卒業延期者数も約2～7%みられた(P7)。これらから、10～15%程度の退学者がいるものと推測され、地域の看護職の確保のため、いかに延期者、退学者を少なくするかが課題である。

調査票

(地I4)

平成21年4月9日

都道府県医師会

担 当 理 事 殿

日本医師会常任理事

羽 生 田 俊

平成21年度医師会立助産師・看護師・准看護師学校養成所
入学・卒業状況調査及び名簿の作成について（お願い）

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて本会では毎年、貴会のご協力のもと、医師会立助産師・看護師・准看護師学校養成所の入学・卒業状況について調査するとともに、名簿を作成しております。ご多端の折誠に恐縮ですが、会務の参考とさせていただきますので、ご協力賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

つきましては、別紙調査票にご記入の上、5月18日（月）までに本会地域医療第1課宛ご回報くださいますようお願いいたします。

平成21年度医師会立助産師・看護師・准看護師学校養成所 入学・卒業状況調査及び名簿の作成について

1. 対象 医師会立助産師・看護師・准看護師学校養成所（公設民営等を含む）

2. 調査項目

【入学状況】平成21年度入学生の様態についてご回答ください。

◆ 全課程共通：定員、応募者数、受験者数、合格者数、入学者数、入学者の最終学歴

◆ 准看護師課程のみ：勤労生徒数

【卒業状況】平成20年度卒業生の様態についてご回答ください。

◆ 全課程共通：入学時の定員、入学時の生徒数、卒業者数、卒業延期者数（⇒平成21年3月に卒業できなかった者）

3. 留意事項

- ①平成21年4月現在での、学校名・住所・電話番号等の確認をお願いいたします。
新設の学校養成所についてもご記入ください。
また募集停止や閉校、他の課程への変更が決定している場合は、その旨備考欄にご記入ください（例 平成22年3月閉校予定、平成22年4月より3年課程へ変更予定 等）。
- ②応募者等の各生徒数記入欄には、推薦や二次募集等を含めた最終的な合計人数をご記入ください。また、男子生徒の人数（再掲）を括弧内にご記入ください。
- ③入学者の最終学歴については、高卒に関してのみ「新卒」と「既卒」を分けてご記入ください。また、高校卒業後に他の専門学校を出た場合や大検合格者は「高校既卒」に含めてください。最終学歴各欄の合計と、入学者数が一致するようご確認をお願いいたします。
- ④「勤労生徒」の欄には、新入生のうち、医療機関で勤務しながら学ぶ生徒、あるいは医療機関で勤務しながら学ぶことを希望する生徒の人数をご記入ください。
- ⑤卒業状況は、入学者の卒業までの流れを把握することを目的としています。「入学時の定員、入学時の生徒数」は、平成20年度に卒業した学年の入学当時の定員、入学者数をご記入ください（前の学年の留年者などは含めないようお願いいたします）。「卒業者数」「卒業延期者」についても、前の学年の留年者などは含めないようお願いいたします。入学者 \geq （卒業者+卒業延期者）となるようご確認をお願いいたします。

4. 締め切り 平成21年5月18日（月）

平成21年度医師会立助産師・看護師・准看護師学校養成所 入学・卒業状況調査、名簿作成 調査票

医師会

(記入担当者)

※()内には男子の人数(再掲)をご記入ください。

学校養成所	課程	区分	〒	住所	電話番号	設置主体	平成21年度入学状況										平成20年度卒業状況				備考	
							定員	応募者	受験者	合格者	入学者	入学者の最終学歴					准看のみ 勤労生徒	入学時の		卒業者		卒業 延期者
												中卒	高校新卒	高校既卒	短大卒	大卒		定員	入学者			
								()	()	()	()	()	()	()	()	()			()	()	()	
								()	()	()	()	()	()	()	()	()			()	()	()	
								()	()	()	()	()	()	()	()	()			()	()	()	
								()	()	()	()	()	()	()	()	()			()	()	()	
								()	()	()	()	()	()	()	()	()			()	()	()	
								()	()	()	()	()	()	()	()	()			()	()	()	
								()	()	()	()	()	()	()	()	()			()	()	()	
								()	()	()	()	()	()	()	()	()			()	()	()	
								()	()	()	()	()	()	()	()	()			()	()	()	
								()	()	()	()	()	()	()	()	()			()	()	()	
								()	()	()	()	()	()	()	()	()			()	()	()	